

業 務 概 要

—令和元年度のまとめ—

京都府立京都学・歴彩館

	項 目	頁
1	京都学・歴彩館について	1
2	利用者、資料収集・所蔵状況（全体概要）	3
	利用者等の状況	3
	館蔵資料の収集・所蔵状況	4
3	京都学研究推進の主な取組み	5
	海外若手研究員受入事業	5
	陽明文庫デジタル画像の閲覧	5
	文化資源発掘プロジェクトによる共同研究	6
4	展示、シンポジウム、講座等、情報発信の取組	9
5	大・小ホール・学習室について	24
6	京都資料総合閲覧室の利用状況	25
7	館蔵資料の撮影と複写	33
8	資料の貸与	34
9	図書館間相互貸出	38
10	共催事業等	38
11	資料の収集・整理・保存	40
	図書資料	40
	古文書	46
	行政文書	47
	写真資料	47
	文書の保存と複製資料の作成	47
	燻蒸	48
	管理委託現物資料	48
12	調査	49
	行政文書	49
13	京都府行政文書修理事業	49
14	図書館実習・インターンシップ	50
15	新聞掲載	50
16	施設の状況	53
17	組織・業務分担・予算	53
18	令和元年度の主な活動	55
19	沿革	58
	参考資料	64

1 京都学・歴彩館について

○「京都学・歴彩館」とは

「京都学・歴彩館」は府民に京都の文化、歴史等に関する学習及び交流の場を提供するとともに、京都に関する資料等を収集して、保存し、さらに公開することにより、京都における文化の発展及び学術の振興に資するため設置された。京都は日本文化のふるさとであり、京都に関する歴史・文化の研究は、日本文化全体と大きく繋がっている。京都学・歴彩館では、京都や京都との関わりの中で成立・発展してきた特色を研究していくことを京都学ととらえ、これを推進・発信する事で京都文化のさらなる発展を旨とすることを目標としている。

「京都学・歴彩館」の名称については、新たな機能である京都文化の研究推進を「京都学」に込めている。そして、「順を追っていく」、「代々にわたる」といった意味を持つ「歴」と、色どりの美しさを表す「彩」により、文化や歴史の数々が時代を超えて輝きを放ちつづけ、次代へと受け継がれていくことを「歴彩」と表現している。

○京都学・歴彩館の建物について

建物は、京都府立大学の図書館や文学部研究室も同居する複合施設となっている。1階は交流フロアとして展示室や大小ホール、京都学ラウンジなどがあり、にぎわいと交流が生まれることを期待している。2階は探究フロアとして京都に関する各種資料や大学所蔵資料が閲覧できるよう約350席を設けた閲覧室があり、3・4階は府立大学文学部の研究室、演習室等が設置されている。

探究フロアの京都資料総合閲覧室にある図書資料は約2万冊で、京都の歴史・地理に関する資料や、京都府、府内市町村が発行した資料等を並べているほか、1階展示室で行う展示に関する「資料紹介コーナー」を設けるなど、館全体で一体となって交流・探究の場を提供している。

○京都学・歴彩館の取組等について

京都学・歴彩館の役割は3つあり、まず旧総合資料館でも行なっていた京都に関する図書資料、古文書、行政文書、写真資料等約85万点の収集・保存・公開を進めること、京都所在の膨大な資料のデジタル閲覧を進めることである。2つ目は府内各地域の文化資源を発掘し、府内の大学・研究機関と連携しながら研究を深めること。3つ目は海外の研究者を招聘し、京都文化を研究してもらうこと。この3点を柱として交流・探究を進め、講演会やシンポジウムを通じて、「京都学」を発信していきたいと考えている。

平成28年12月に一部オープンしてから多くのイベントを開催しており、令和元年度においては「京都を学ぶセミナー」をはじめとする計126回の各種講座を実施し、のべ約7800人の参加を得た。

これからも京都学・歴彩館の場所・人・資料などの資源を用いて府民の方へさまざまな形で発信していきたい。そして、府民の皆さんが資料を手に取り、研究や調査を進め、その成果を発表したり、交流したりすることが出来る拠点としていきたいと考えている。

京都府立京都学・歴彩館 館長 金田章裕

2 利用者、資料収集・所蔵状況（全体概要）

（1）利用者等の状況

○1階（交流フロア）、2階（探究フロア）の利用者数等について

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2年3月7日から臨時休館

事 項	利用者数等	事 項	利用者数等
展示室	10,633人	出納件数	10,864件
京都学ラウンジ	11,643人	書庫の図書資料	9,127件
学習室	55,444人	古文書等	608件
大ホール	17,819人	行政文書	1,129件
小ホール	8,475人	相談件数	12,284件
2階 探究フロア (府立大附属図書館含む)	159,536人	資料の使用 (管理委託現物資料含む)	68件 510点
合計	263,550人	資料の利用 (管理委託現物資料含む)	184件 680点
		資料の複写	8,415件 155,100枚
		資料の館外貸与 (管理委託現物資料含む)	40件 401点(冊)
開館日数	294日		
一日平均利用者数	896人		

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

○駐車場の利用状況

台数	10,865台
うちサービス台数	2,806台
使用料収入	5,159,100円

※「サービス台数」とは、サービスタイム（15分以内）に出庫した車の台数

(2) 館蔵資料の収集・所蔵状況

資料区分		令和元年度受払状況							累計 (令和2年 3月31日現在)
		受入					払出	計	
		購入	寄贈	取得	保管換 移 管 引渡等	計			
図書資料	図書資料 その他 ^{※1}	798	2,536	921	—	4,255	0	4,255	396,896冊 1,728点
	小 計	798	2,536	921	—	4,255	0	4,255	398,624(点)
文書資料	古文書 ^{※2}	1	473	—	—	474	—	474	140,639点
	行政文書	—	—	—	2,247	2,247	—	2,247	93,819点
	写真資料	—	212	—	—	212	—	212	138,096点
	近代文学資料 その他 ^{※3}	—	—	—	—	—	—	—	23,788点 256点
	小 計	1	685	0	2,247	2,933	—	2,933	396,598点
管理委託 ^{※4} 現物資料	美術工芸資料	—	105	—	—	105	—	105	11,341点
	歴史民俗資料	—	1	—	—	1	—	1	18,960点
	その他 ^{※5}	—	—	—	—	—	—	—	23,663点
	小 計	0	106	0	0	106	—	106	53,964点
合 計		799	3,327	921	2,247	7,294	0	7,294	849,186冊(点)

※1 版木ほか。

※2 古文書の点数は、平成13年度から、詳細目録により算定した数値に変更した。

※3 鳥類はく製、京都府旧公印ほか。(鳥類はく製は京都子ども文化会館に貸出中)

※4 管理委託現物資料は、京都府京都文化博物館を運営する公益財団法人京都文化財団に管理委託した美術工芸資料等の現物資料である。(管理委託現物資料の一部は、中京区の京都府施設にて収蔵)

※5 吉川観方コレクション、江馬務コレクションほか。

上記に加え、京都関係パンフレット168冊をKパンフレットとして、京都官庁関係パンフレット77冊をMKパンフレットとして簡易整理し、総数2,496冊を「京の記憶アーカイブ」京都関係雑誌記事論文と共に検索できるようにしました。

3 京都学研究推進の主な取組み

(1) 海外若手研究員受入事業

当館と覚書を締結した国内外の日本文化研究機関から推薦を受けた優秀な外国人若手研究者を選考の上、当館の「京都学研究員」として招へいし、研究支援を行いました。

京都学研究員には、受入期間中、京都研究・日本研究に従事いただくとともに、「府民向けセミナー」においてその研究成果を発表いただきました。

覚書締結機関：計7（海外4・国内3）機関

- ・セインズベリー日本藝術研究所（イギリス）
- ・国立高等研究実習院（フランス）
- ・国立台湾大学文学院日本研究センター（台湾）
- ・南カリフォルニア大学（アメリカ）
- ・京都大学大学院文学研究科
- ・東京大学大学院人文社会系研究科日本文化研究専攻
- ・京都府立大学

京都学研究員（令和元年度）：2人

氏名（敬称略）	国・地域	専門	研究テーマ	受入期間
クリストファー・ヘイズ	イギリス	哲学、 日本学	外国人観光客の京都や日本に関する認識：その期待・印象・2020年の東京五輪の影響	令和元年 9月17日 ～令和2年 3月14日
郭 珮君 <small>ベijingun</small>	台湾	日本史	東アジアの仏教儀礼テキストと文学表現：日本中世の天台仏教を中心に	令和元年 10月28日 ～令和2年 3月13日

(2) 陽明文庫デジタル画像の閲覧

当館では、平成29年2月5日に締結した公益財団法人陽明文庫及び東京大学史料編纂所との覚書に基づき、公益財団法人陽明文庫の協力により東京大学史料編纂所が作成した、陽明文庫が所蔵する近衛家伝来資料のデジタル画像約5万点の公開を平成29年4月27日から開始しました。

令和元年度閲覧利用の実績

閲覧利用延人数	146 人
閲覧利用資料数	4,943 件
閲覧ページ数	9,465 ページ

(備考：平成31年4月1日～令和2年3月6日実績 令和2年3月7日から新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館)

(3) 文化資源発掘プロジェクトによる共同研究

府内大学・研究機関との連携及び京都府域の文化資源発掘を目指し「京都府立京都学・歴史館」プレ事業として平成27年度から開始した「文化資源発掘プロジェクト」では、第一段階の取組として「洛北の文化資源」にスポットをあて、府内大学・研究機関の研究者とともに研究会を発足し、共同研究に取り組みました。

当プロジェクトは、初年度に共同研究会を発足して研究を進め、2年目に共同研究会報告書を取りまとめるとともにその成果をもとにした一般書籍を刊行、3年目には各研究者に研究成果を発表いただくセミナーを連続シリーズで開催しています。

令和元年度においては、『京都を学ぶ【南山城編】』（30年度刊行）の内容を府民にわかりやすくお伝えする「京都を学ぶセミナー【南山城編】」を開催するとともに、「洛西の文化資源」共同研究会（30年度発足）の報告書を取りまとめ、『京都を学ぶ【洛西編】』を令和2年3月に刊行しました。また、新たに「洛東の文化資源」共同研究会を発足し、研究活動を開始しています。

南山城の文化資源共同研究参加メンバー（平成29～令和元年度）

(五十音順 敬称略 肩書は平成29年度時)

上杉 和央	京都府立大学文学部 准教授
	南山城地域の文化的景観の基層
香川 貴志	京都教育大学社会科学科 教授
	名勝地・笠置の観光をめぐる環境変遷と将来展望
久保 中央	京都府立大学生命環境学部 准教授
	南山城のお茶の遺伝的特質の解明
佐伯 俊源	種智院大学人文学部 教授
	古代南山城の宗教的環境
島津 良子	京都文教大学 客員研究員
	「宇治製茶」製法の誕生と普及 —近世南山城茶の江戸販売を手がかりに—

竹門 康弘	京都大学防災研究所水資源環境研究センター 准教授
	木津川の自然と利用の文化
山田 邦和	同志社女子大学現代社会学部 教授
	不整形プラン都城案による恭仁京復元

洛西の文化資源共同研究参加メンバー（平成30～令和2年度）

（五十音順 敬称略 肩書は平成30年度時）

朝比奈 英夫	京都光華女子大学キャリア形成学部 教授
	中路家旧蔵『百人一首読解』から見た葛野地域の教養
鍛冶 宏介	京都学園大学人文学部 准教授
	木嶋神社と養蚕信仰
小林 啓治	京都府立大学文学部 教授
	乙訓地域における戦時体制 —1930年代から40年代の新神足村を中心に—
中野渡 俊治	花園大学文学部 教授
	平安時代の洛西と王権
野田 泰三	京都橋大学文学部 教授
	中近世移行期洛西地域における中間層の動向について
古田 裕三	京都府立大学大学院生命環境科学研究科 教授
	古都京都の竹工芸の科学によるブランド化と市場創生・放置竹林撲滅のための基礎的研究 —洛西・乙訓地区を先端例に—
町田 香	京都造形芸術大学日本庭園・歴史遺産研究センター日本庭園研究部門 嘱託研究員
	洛西の庭園文化
村山 弘太郎	京都外国語大学国際貢献学部 講師
	洛西地域の社寺に関する歴史民俗的研究

洛東の文化資源共同研究参加メンバー（令和元～3年度）

（五十音順 敬称略 肩書は令和元年度時）

安達 敬子	京都府立大学文学部 教授
	平安文学にみえる白河・白河院
井上 えり子	京都女子大学家政学部 准教授
	近代京都における花街の建築文化

木立 雅朗	立命館大学文学部 教授
	京焼・清水焼の民俗考古学的研究—五条坂を中心として—
佐野 静代	同志社大学文学部 教授
	琵琶湖疏水利用庭園の成立に関する再検討
西 弥生	種智院大学文学部 教授
	醍醐寺の桜会の歴史
増淵 徹	京都橘大学 教授
	山科の歴史遺産をめぐる言説の問題
本井 牧子	京都府立大学文学部 准教授
	洛東の寺社とその縁起
吉江 崇	京都大学大学院人間・環境学研究科 准教授
	平安・鎌倉時代における洛東地域の信仰と宮廷社会
川口 成人	京都府立京都学・歴史館
	足利義政政権と東山・北白川
吉岡 直人	京都府立京都学・歴史館
	安祥寺開基恵運の入唐について

4 展示、シンポジウム、講座等、情報発信の取組

◆ 展示

○ 企画展

期 間	名 称	場 所	入場者数
平成31年 4月13日(土) ～令和元年 6月9日(日) (4/29～5/4、 5/6、5/8は休館) [開場日数50日]	「対展」 ・展示品:麻田浩「北山杉」1986年など17点 ・附帯事業:ギャラリートーク ・概要:対で成立する作品のほか、日本画、油 彩画や版画など、京都府が所蔵する60年代以 降の美術作品を紹介。		1,494人 (30人/日) ギャラリー トーク 4/26:9人 5/29:53人
令和元年 7月13日(土) ～9月8日(日) (7/15、8/12、 8/14は休館) [開場日数55日]	「京都学・歴彩館の“お宝”一書く、描く、 刷る 奈良時代から現代まで」 ・展示品:「国宝東寺百合文書讃岐国山田郡司 牒案」など79点 ・附帯事業:記念講演会(7/13)、展示解説 ・ICOM京都大会2019のソーシャルイベントと して、東寺百合文書収蔵庫ツアーと展示解説 (いずれも英語解説付き)を実施(9/4) ・概要:当館に伝わる奈良時代から現在までの “お宝”(国宝の東寺百合文書、重要文化財の 東寺観智院伝来文書、京都府行政文書、草嶋 家文書などの指定文化財等)の数々を紹介す るとともに昨年、重要文化財になった京都府 盲学校に伝わる京都盲唖院関係資料をコーナ ー展示	1階 展示室	3,970人 (72人/日) 記念講演会 7/13:106人 展示解説 7/25:19人 8/3:4人 8/22:11人 8/31:30人 9/4:218人
令和元年 9月14日(土) ～11月10日(日) (9/16、23、10/9、 14、22、11/4は 休館) [開場日数52日]	「双京 京の夢、江戸の夢～館蔵資料に見る、 二都の縁(えにし)～」展 ・展示品:天皇即位関連資料ほか50点 ・附帯事業:記念講演会(10/20)、展示解説 ・概要:天皇即位を記念して、皇室ゆかりの京 都と東京、両都市に関わる館蔵資料を展示。		2,516人 (48人/日) 記念講演会 10/20:170人 展示解説 9/19:27人 9/28:6人 10/17:18人 10/26:13人

<p>令和元年 11月16日(土) ～12月8日(日) (11/23は休館) [開場日数 23日]</p>	<p>「府大生∞歴史館 コラボで探る京都学—京都府立大学の学生・大学院生が企画した歴史館所蔵古典籍・資料展—」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示品:「忠義水滸全書」など 54点(第1部18点、第2部3点、第3部33点) ・附帯事業:学生による展示解説(第3部)、学生による英語展示解説 ・概要:第1部日本・中国文学科編では京都新聞の連載『遊びをせんとや』で紹介した資料と共に、学生による翻刻文を展示した。第2部和食学科編では、新たに発足した和食学科の紹介展示を行った。第3部歴史学科編では歴史館所蔵資料を使った授業「日本文化史研究3・4」の成果をふまえた京都の歴史・文化に関わる展示を行い、学生による展示解説も行った。また、欧米言語文化学科が提供する授業「英語で京都」(三大学共同化科目)において「学生による英語展示解説」を実施した。展示解説集を配布 	<p>872人 (38人/日) 学生による 展示解説 11/26:14人 学生による 英語展示解説 12/2:8人</p>
<p>令和2年 1月11日(土) ～3月8日(日) (1/13、2/11、12、 24、3/11、20は 休館) [開場日 52日]</p>	<p>柔らかい陶—市川廣三・宮下善爾の心象風景—展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示品:「磁器 閑日、陶器 はじまりとおわり」など42点 ・附帯事業:ギャラリートーク ・概要:本展では、戦後の昭和、平成の時代を駆け抜けた二人の陶芸家が生み出した陶芸にみる心象風景の魅力を紹介。 	<p>1,781人 (34人/日) ギャラリー トーク 1/16:52人 2/6:27人 2/27:17人</p>
<p>合計</p>		<p>10,633人</p>

○ 常設展等

- ・ 1階京都学ラウンジ常設展示 吉田初三郎 「京都名所大鳥瞰図」

※令和元年9月7日（土）から9月30日（月）までは、共催事業実施のため展示中止

・ ホワイエ、光庭展示

期 間	場 所	作家・作品名等
平成31年3月16日（土） ～令和2年3月10日（火）	ホワイエ	外村まゆみ「モザイクの家」他
平成31年4月10日（水） ～令和元年10月9日（水）	光庭2	太田耕三「和む」「少女」「ひだまり」
令和元年10月9日（水） ～令和2年3月11日（水）	光庭2	佐藤浩二郎「一緒にあそぼう♪ 一緒にまなぼう♪」

・ 1階京都学ラウンジ パネル展示

期 間	名 称	協 力
（平成31年3月1日（金）） ～4月9日（火）	鉄道のはじまりと京都	京都鉄道博物館
平成31年4月11日（木） ～22日（月）	「第7回子ども読書本のしおりコンテスト」入選作品巡回展	京都府図書館等連絡協議会
平成31年4月23日（火） ～令和元年5月8日（水）	京都府の日本遺産パネル	
令和元年5月9日（木） ～6月3日（月）	園部落 立藩400年記念パネル展 -南丹市に伝わる園部落の歴史-	南丹市教育委員会
令和元年6月4日（火） ～30日（日）	京都府内の文化遺産～平成30年度指定・登録等文化財の紹介～	京都府文化財保護課
令和元年7月1日（月） ～31日（水）	府大生による探検！発見！歴彩館 ～コラボで探る京都学～	京都府立大学
令和元年8月1日（木） ～31日（土）	日本名作映画上映会『舟を編む』上映記念特別展示	新村出記念財団重山文庫
令和元年8月1日（月） ～9月3日（火）	生きた植物の博物館－府立植物園－	京都府立植物園
令和元年9月7日（土） ～30日（月）	『戦後京都を設計した男』～建築家・富家宏泰生誕100年記念回顧展	富家宏泰生誕100年記念回顧展実行委員会
令和元年10月1日（火） ～31日（木）	京都府立大学ACTR（地域貢献型特別研究）研究成果パネル展	府立大学京都地域未来創造センター

令和元年10月1日(火) ～11月12日(火)	京都を学ぶセミナー第6回特別展 ～笠置町 再発見!～	笠置町、相楽東部未来 づくりセンター、(株) シネマズギックス
令和元年11月14日(木) ～12月17日(火)	卒業写真でみる岩倉の子どもたち	京都市立明德小学校、 京都市学校歴史博物 館、大阪府立大学教授 中村治氏
令和2年1月9日(木) ～2月2日(日)	祇園祭山伏山町文書の世界	京都府立大学
令和2年2月4日(火) ～3月6日(金)	京都の祭り行事	京都ふるさと伝統行 事普及啓発実行委員 会、京都市文化財保護 課

・ 1階ホール前(大ホール前・小ホール北側)展示

期 間	コーナー名
令和元年10月1日(火) ～31日(木)	京都を学ぶセミナー(南山城編)第6回関連企画 シバタタツヤ写真展 [1to1] -繋ぐ- ・東京から笠置町に移り住んだ写真家シバタタツヤ。町で出会 い、触れあった人々のやさしさをとらえた写真展。

・ 1階小ホール展示

期 間	内 容
平成31年4月9日(火)～15日(月) 令和元年8月13日(火)～19日(月) 令和2年1月25日(土)～1月30日(木)	京電 写真展
令和元年5月9日(木)～13日(月) 令和元年5月21日(火)～27日(月) 令和元年8月23日(金)～9月2日(月) 令和2年2月25日(火)～3月4日(水)	京都の明治150年 パネル展
令和元年10月15日(火)	京都を学ぶセミナー第6回特別展示 -笠置寺磨崖仏拓本特別公開-

・ 2階京都資料総合閲覧室前 パネル展示

期 間	コーナ一名
平成31年4月11日（木） ～4月22日（月）	「第7回子ども読書本のしおりコンテスト」入選作品巡回展 （主催：京都府教育委員会・京都府図書館等連絡協議会） ※京都学ラウンジと2カ所で開催
令和元年6月13日（木） ～6月30日（日）	「京都府内の文化遺産」関連資料紹介 ※京都学ラウンジミニ講座関連
令和元年10月1日（火） ～10月31日（木）	「笠置町再発見！」関連資料紹介 ※京都を学ぶセミナー-南山城編第6回関連
令和2年2月13日（木） ～2月19日（水）	「陽明文庫講座」関連資料紹介 ※陽明文庫講座関連

◆ 講演・シンポジウム

○ 展示関連講演

年月日	内 容	参加者数
令和元年 7月13日（土）	ICOM 京都大会記念特別展示「京都学・歴彩館の“お宝”一書く、 描く、刷る 奈良時代から現代まで」関連講演 「ICOM 京都大会特別記念講演会」 ○講演 京都国立博物館長 佐々木 丞平 氏 「ICOM 京都大会 2019 とは」 京都府立大学客員教授 松谷 茂 氏 「植物園が北山地域に果たしてきた（いる）役割、歴史から 見る」 福知山公立大学長 井口 和起 氏 「京都学・歴彩館の魅力～過去・現在・未来～」	106人 大ホール
令和元年 10月20日（日）	「双京 京の夢、江戸の夢～館蔵資料に見る、二都の縁（えにし） ～」展関連講演 ○講演 元宮内庁掌典補 三木 善明 氏 「天皇さまのおまつり～宮中祭祀と即位礼～」 東京都江戸東京博物館 齋藤 慎一 氏 「徳川将軍家の権威～二条城の構造と変遷～」	170名 大ホール

○ その他シンポジウム

年月日	内 容	参加者数
令和元年 5月25日（土）	<p>地域の歴史を学び未来へ伝えるシンポジウム「学校と地域史のかけはし」を実施。</p> <p>第一部 地域における活動の事例報告</p> <p>立命館大学産業社会学部教授 中西 仁 氏 「地域文化を学ぶ教員志望の学生達」</p> <p>琵琶湖疏水アカデミー代表 小森 千賀子 氏 「地域探究 琵琶湖疏水 ～若者と共に子ども達へ～」</p> <p>京都乙訓ふるさと歴史研究会会長 中西 昌史 氏 「ふるさとの宝を活用する ～歴史素材の教材化について～」</p> <p>三和学園福知山市立三和小・中学校地域連携コーディネータ 吉田 武彦 氏 「学校は地域に何ができるか～三和地域まるごと博物館とは～」</p> <p>第二部 ディスカッション</p> <p>コーディネータ：京都府立京都学・歴彩館 若林 正博 パネラー：第一部の報告者</p>	68人 大ホール

◆ 講座

○ 京都を学ぶセミナー「南山城編」

「南山城の文化資源」研究プロジェクトの成果を分かりやすく解説する「京都を学ぶセミナー【南山城編】」を開催しました。

年月日	内 容・講 師（敬称略）	参加者数
令和元年 5月12日（日）	<p><第1回></p> <p>講演 京都府立京都学・歴彩館館長 金田 章裕 「南山城の南北交通－「南山城回廊」－」</p> <p>※京田辺市商工会館4階キララホールで開催</p>	75人
令和元年 6月15日（土）	<p><第2回></p> <p>講演 同志社女子大学教授 山田 邦和 「恭仁京のカタチー復元への試案ー」</p>	142人 大ホール
令和元年 7月16日（火）	<p><第3回></p> <p>講演 京都大学准教授 竹門 康弘 「木津川はココがおもしろい！～自然と生きものの世界～」</p>	118人 大ホール

令和元年 8月27日（火）	<第4回> 講演 京都府立大学大学院教授 久保 中央 「DNAからみた宇治茶の来歴」	131人 大ホール
令和元年 9月10日（火）	<第5回> 講演 奈良女子大学非常勤講師 島津 良子 「「緑茶製法」の誕生と普及」	153人 大ホール
令和元年 10月15日（火）	<第6回> 講演 京都教育大学教授 香川 貴志 「南山城再発見！－笠置の魅力発信に向けた提案－」 映画上映会 「笠置ROCK！」	94人 大ホール
令和元年 11月19日（火）	<第7回> 講演 京都府立大学准教授 上杉 和央 「江戸時代の南山城らしさ」	137人 大ホール
令和元年 12月17日（火）	<第8回> 講演 種智院大学教授 佐伯 俊源 「飛鳥仏教と南山城－高麗寺の創建をめぐって－」	178人 大ホール

○ 海外若手研究員受入事業 府民向けセミナー

海外から招へいた日本研究・京都研究の優秀な若手研究員による府民向けセミナーを開催しました。

年月日	内 容・発表者（敬称略）	参加者数
令和2年 2月21日（金）	海外若手研究員による府民向けセミナー －海外における日本研究の新地平－ 発表 ①クリストファー・ヘイズ 「京都の外国人観光客の動向 －ラグビーワールドカップの影響をめぐって－」 ②郭 珮君（クオ ペイジュン） 「仏教文化交流からみる中世の如法経信仰」	63人 小ホール

○ 陽明文庫講座

公益財団法人陽明文庫との合同主催で実施しました。

年月日	内 容・講師等（敬称略）	参加者数
令和2年 2月15日（土）	<p>○講演 MIHO MUSEUM館長 熊倉 功夫 「寛永文化と近衛家の茶湯」</p> <p>○鼎談 「家熙予楽院と茶湯」 ・熊倉 功夫 ・茶道資料館顧問 筒井 絃一 ・陽明文庫常務理事・文庫長 名和 修 ・司会：京都府立京都学・歴史館館長 金田 章裕</p>	339人 大ホール

○ 京都学ラウンジミニ講座

毎週木曜日、京都学ラウンジにて、当館職員等が講師を務めるミニ講座を開催しました。

年月日	内 容	講 師（敬称略）	参加者数
平成31年 4月4日、 11日、18日、25日	江戸時代の禪宗寺院の世界 — 妙心寺本山建築から見た近世 —	副館長 平井 俊行	153人
令和元年 5月9日、16日、 23日、30日	小西大東 — 忘れられた近代京都の文化人 —	資料課 松田 万智子	146人
令和元年 ①6月6日 ②13日 ③20日 ④27日	京都府内の文化遺産 — 平成30年度指定・登録等文化財 について — ①全体概要と無形文化財 ②建造物 ③考古資料 ④美術工芸（考古資料除く）	府文化財保護課 ①岸岡 貴英 向田 明弘 ②村瀬 由紀史 ③吹田 直子 ④桑原 正明	129人

令和元年 7月4日、 11日、18日、25日	生きた植物の博物館 —京都府立植物園のすばらしき世界— ①変わる植物分類学 ②もう一つの植物園 ③植物園春夏秋冬 ④植物園の歴史 —大正～昭和～平成 そして令和	京都府立植物園 ①戸部 博 ②平塚 健一 ③岡垣 勝 ④西原 昭二郎	206人
令和元年 8月1日、8日、22日	ちょっと不思議な古代日本 —律令国家を考える—	京都学推進課 吉岡 直人	107人
令和元年 8月29日	京都の国際文化交流—府知事 中井弘が体験したイギリスの影響—	京都府立大学 山口 エレノア	35人
令和元年 9月12日	森の大切さを考える	京都府立大学 桂 明宏	33人
令和元年 9月19日	古代の都と病	京都府立大学 本庄 総子	42人
令和元年 9月26日	見えない仏像とその秘密 —清涼寺の釈迦瑞像をめぐって—	京都府立大学 本井 牧子	46人
令和元年 10月3日、10日、 17日、24日、31日	皇室と京都 ①皇女和宮—京と江戸を結ぶ— ②明治天皇陵～西の陵、東の社～ ③昭和大礼と吉田初三郎 ④大正大礼の記念事業から—『京都府誌』と『京都叢書』の刊行— ⑤徳仁親王殿下のお成り	資料課 ①田中 まさみ ②若林 正博 ③松田 万智子 ④楠 久美 ⑤小森 浩一	201人
令和元年 11月7日、14日、 21日、28日	室町時代の細川氏と京都	京都学推進課 川口 成人	206人
令和元年 12月5日	平安京の街路の変遷	館長 金田 章裕	93人 ※
令和2年 1月9日、16日、 23日、30日	戦前期京都市民の民衆史—ウエダヤ薬局上田蟻善の京都渡世—	京都学推進課 杉本 弘幸	140人

令和2年 2月6日、13日、 20日、27日	東福門院和子 —京都江戸のはざまで—	京都学推進課 寺嶋 一根	205人 ※
------------------------------	-----------------------	-----------------	-----------

※12月5日と2月27日開催分については、小ホールで実施

○ 京都学ラウンジ展示ギャラリートーク

京都学ラウンジの展示テーマに関連したギャラリートークを開催しました。

年月日	内 容	講 師（敬称略）	参加者数
令和元年 ①9月10日（火） ②9月22日（日）	『戦後京都を設計した男』建 築家・富家宏泰生誕100年記 念回顧展ギャラリートーク	①京都工芸繊維大学教授 中川 理 ②国際日本文化研究センタ ー教授 井上 章一	①47人 ②73人 ①小ホール ②大ホール

○ 日本名作映画上映会

府民の皆様だけでなく、日本在住・来日中の海外の方々にも日本映画を通して、京都や日本の歴史・文化に親しんでいただくため、国際交流基金と共催で英語字幕付の映画上映会を開催しました。

年月日	内 容	参加者数
令和元年8月21日（水）	英語字幕付『舟を編む』上映と関連資料紹介	473人 大ホール
令和元年12月3日（火）	英語字幕付『細雪』上映と関連資料紹介	450人 大ホール

○ 寺子屋講座

京都府立大学文学部歴史学科の教員・学生と連携して寺子屋講座を開催しました。

年月日	内 容	参加者数
令和元年11月10日（日）	京都の歴史を歩こう！～西陣編～	16人

○ 古文書ヨル学会—入門編—

当館が所蔵する古文書や絵図等をテキストとして、くずし字の読み方などを解説する初心者向けの古文書解説講座を開催しました。

年月日	内 容・講師等（敬称略）	参加者数
平成31年4月17日（水）	江戸時代の「陰陽師」を読む vol.2 資料課 山本 琢	44人 小ホール
令和元年5月15日（水）	六十六州の国名を読む 資料課 若林 正博	41人 小ホール
令和元年6月5日（水）	シリーズ箱訴：明治の目安箱① 資料課 山本 琢	43人 小ホール
令和元年6月19日（水）	祇園祭：鷹山資料 資料課 大塚 活美	34人 小ホール
令和元年7月17日（水）	六十六州の国名を読む—西日本編— 資料課 若林 正博	52人 小ホール
令和元年7月31日（水）	シリーズ箱訴：明治の目安箱② 京都学推進課 杉本 弘幸	55人 小ホール
令和元年8月21日（水）	ぶらり三条油小路をゆく 資料課 山本 琢	38人 小ホール
令和元年9月18日（水）	時慶卿記 資料課 若林 正博	44人 小ホール
令和元年10月16日（水）	家のルーツを伝える文書 資料課 大塚 活美	51人 小ホール
令和元年10月30日（水）	シリーズ箱訴：明治の目安箱③ 京都学推進課 寺嶋 一根	47人 小ホール
令和元年12月4日（水）	シリーズ箱訴：明治の目安箱④ 京都学推進課 川口 成人	36人 小ホール
令和元年12月17日（火）	『伏見鑑』で笠置へ行こう 資料課 若林 正博	21人 小ホール
令和2年1月24日（金）	幻の由良川通船計画書を読む 資料課 山本 琢	40人 小ホール
令和2年2月19日（水）	近代文学資料（吉井勇資料）から 資料課 大塚 活美	23人 小ホール

○ 資料に親しむ会

当館が所蔵する資料について、実際に資料を見ながら、当館職員が持つ知見をわかりやすく解説する講座を開催しました。

年月日	内 容・講師等（敬称略）	参加者数
平成31年4月23日（火）	郷土研究家 田中緑紅と「緑紅叢書」—没後 50 年を 記念して— 資料課 松田 万智子	48人 小ホール
令和元年5月14日（火）	洛中洛外入門—図録・単行本・研究書の紹介— 資料課 大塚 活美	22人 小ホール
令和元年6月11日（火）	京都の商工人名録 資料課 楠 久美	20人 小ホール
令和元年7月30日（火）	京都学・歴彩館の“お宝”に親しむ 資料課 松田 万智子	26人 小ホール
令和元年8月9日（金）	寺子屋講座 歴彩館でボードゲームを楽しもう！ 資料課 藤原 直幸	6人 小ホール
令和元年8月20日（火）	寺子屋講座 資料のミニチュアをつくろう！京都 学・歴彩館の“お宝”展の巻 資料課 祖父江 長良、伊藤 実矩	5人 小ホール
令和元年9月24日（火）	吉川観方コレクションに親しむ—京都の文化人・吉 川観方をめぐって— 資料課 藤本 恵子	28人 小ホール
令和元年10月8日（火）	統計資料に親しむ—統計の日にちなんで— 資料課 大瀧 徹也	18人 小ホール
令和元年11月26日（火）	古典籍に親しむ 京都府立大学文学部准教授 竹島 一希	23人 京都学 ラウンジ
令和元年12月10日（火）	幕末の浮世絵版画 都百景に親しむ 資料課 大塚 活美	41人 小ホール
令和2年1月14日（火）	暦に親しむ 資料課 藤原 直幸	44人 小ホール
令和2年2月18日（火）	大嘗祭に親しむ 資料課 楠 久美	17人 小ホール

○ 京都の出版社に聞く

京都の出版社の方をお招きし、自社のこと、刊行している出版物のこと、御自身の日々の仕事内容等について御講演いただきました。また、講演する出版社が発行した所蔵資料を会場に展示し、参加者の方々に手にとってご覧いただきました。講座及び資料展示とも、参加者からの多くの質問に、講師にお答えいただき好評を得ました。18時半から20時まで開催し、30～50代を中心に幅広い年代の方にご参加いただきました。

年月日	講師(敬称略)	参加者数
令和元年10月25日(金)	便利堂 営業本部営業課長 藤岡 篤弘	33人 小ホール

○ 京都資料総合閲覧室ミニツアー

歴彩館を初めて訪れた方や京都資料総合閲覧室を利用したことがない方を対象に、京都資料総合閲覧室の資料と使い方を案内するミニツアーを開催しました。本年度は8回実施して、のべ88人の方にご参加いただきました。

○ 館外での講座(当館職員・敬称略)

年月日	演題・講師	会場等	参加者数
令和元年 5月10日(金)	昭和初期における伏見地域の 交通計画～京阪六地蔵線・新 京阪山科線～ 資料課 若林 正博	主催：京都伏見ロータリー クラブ ホテルグランヴィア京都 (京都市下京区)	50人
令和元年 9月15日(日)	「昭和初期の京都西郊の鉄道 計画・幻の新京阪洛西線」 資料課 若林 正博	主催：NPO法人さらんネッ ト 富士ビル7F 会議室(京 都市右京区)	10人
令和元年 10月18日(金)	「鳥羽伏見の戦いとその後の 伏見の復興」 資料課 若林 正博	主催：京都市生涯学習総合 センター 京都アスニー(京都市中京 区)	200人

◆ 資料紹介コーナー

当館主催の展覧会や講演会等に関連する所蔵資料を紹介するコーナーを設け、展覧会や講演会への興味を持ってもらい、また、理解を深めていただきました。

期 間	資料紹介コーナー名	関連事業	リスト 配布数
平成31年4月11日（木） ～5月7日（火）	「ありがとう平成」関連資料		65枚
平成31年4月11日（木） ～6月11日（火）	「対（つい）展」関連資料	当館展覧会	226枚
令和元年5月15日（水） ～6月11日（火）	「令和改元記念」関連資料		48枚
令和元年6月13日（木） ～6月30日（日）	京都を学ぶセミナー第2回関連資料	当館主催セミナー	180枚
令和元年7月11日（木） ～7月30日（火）	京都を学ぶセミナー第3回関連資料	当館主催セミナー	180枚
令和元年7月11日（木） ～9月10日（火）	「京都学・歴彩館のお宝展」関連資料	当館展覧会	417枚
令和元年8月19日（月） ～9月10日（火）	京都を学ぶセミナー第4,5回関連資料	当館主催セミナー	330枚
令和元年9月12日（木） ～11月12日（火）	「双京 京の夢・江戸の夢展」関連資料	当館展覧会	380枚
令和2年1月9日（木） ～3月6日（金）	「柔らかい陶展」関連資料	当館展覧会	346枚
令和2年2月13日（木） ～3月6日（金）	「海外若手研究員による府民向けセミナー」関連資料	当館主催セミナー	78枚
令和2年2月13日（木） ～2月19日（水）	「陽明文庫」関連資料	当館主催講座	357枚

- 加えて、日本名作映画上映会「舟を編む」と連携してクイズラリーを行いました。また、閲覧室書架にて資料紹介POPを展示し、エレベータ裏にてPOPを使った飾り付けを行いました。

◆ 資料ガイドの執筆(京の記憶アーカイブに掲載)

	内 容	掲載日
1	吉井勇日記にみる馬町空襲	平成31年4月15日(月)
2	万葉集(古活字版)と田中尚房の紹介	平成31年4月26日(金)
3	臣下に配った漢籍(朝鮮内賜本)	令和元年5月15日(水)
4	黒川翠山撮影写真資料の題名について	令和元年5月29日(水)
5	物としての写真資料	令和元年6月26日(水)
6	京うちわ～歴史と普及	令和元年7月17日(水)
7	矢野豊次郎氏収集写真と『おもかげ』	令和元年7月31日(水)
8	四条小橋	令和元年8月30日(金)
9	華族会館京都分館	令和元年9月27日(金)
10	昭和大礼関係行政文書	令和元年10月18日(金)
11	石井行昌氏本人の写真	令和元年10月31日(木)
12	京の絵師、吉田初三郎の鳥瞰図の紹介～星野リゾートの源流～	令和元年11月29日(金)
13	〈貴重書〉都百景(都名所百景)	令和元年12月6日(金)
14	改暦後初の京暦	令和2年1月6日(月)
15	資料紹介「美濃屋彦三郎農具売出引札版木」	令和2年2月19日(水)

- 加えて、京の記憶アーカイブのコンテンツに「資料で遊ぼう」のコーナーを作り、デジタル画像を利用した工作について紹介しました。本年度は「豆本」「鳥瞰図」「ブックカバー」「豆巻物」「豆折本」をアップしました。

◆ SNS

館のイベント情報、休館日や開館時間、京の記憶アーカイブの更新情報(お知らせ、資料ガイド等)、資料紹介や調査(レファレンス)事例、北山エリアの話題等を広く発信するため、平成31年4月22日からTwitterとFacebookを始めました。本年度は566件発信しました。

○ #京都あれこれ

「#京都あれこれ」として、所蔵資料を紹介する投稿を行いました。本年度は「津田重定書状」(『東寺百合文書』)や『京都府職員録』などを取り上げ、合計39回投稿しました。

5 大・小ホール・学習室について

ア 大・小ホール

今年度大ホール利用者数は17,819人、小ホールの利用者数は8,475人でした。

イ 学習室について

86席の自習室については、今年度の利用者数は55,444人でした。

年月	開館日数	学習室	大ホール	小ホール
31年4月	27日	3,928人	1,072人	522人
元年5月	25日	5,516人	188人	627人
6月	29日	6,070人	1,192人	540人
7月	29日	5,846人	3,986人	1,495人
8月	29日	5,803人	985人	640人
9月	27日	5,433人	2,646人	842人
10月	28日	5,182人	1,749人	1,245人
11月	27日	5,460人	1,607人	1,027人
12月	16日	3,163人	1,999人	576人
2年1月	25日	4,286人	934人	329人
2月	26日	4,757人	1,461人	576人
3月	6日	0人	0人	56人
計	294日	55,444人	17,819人	8,475人

6 京都資料総合閲覧室の利用状況

京都に関する専門的な調査研究のための閲覧室（207 席）で、グランドオープンから、利用時間を9時から21時まで（土日は17時まで）と大幅に延長しています。開架図書約2万冊を自由に利用できるほか、書庫内の図書資料、古文書、行政文書などが利用できます。本年度の利用者数は159,536人でした。

※ただし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2年3月7日から臨時休館

(1) 京都資料総合閲覧室の利用状況

年月	開館日数	利用者数 (月単位)	出納の状況							
			図書（書庫資料）		古文書		行政文書		合計	
			件数	冊数	件数	点数	件数	点数	件数	点(冊)数
31年 4月	27	11,780 (436.3)	697	3,651	46	331	86	383	829	4,356
元年 5月	25	15,519 (620.8)	800	3,561	44	251	90	475	934	4,287
6月	29	17,001 (586.2)	949	4,785	57	267	113	555	1,119	5,607
7月	29	20,205 (696.7)	1,033	5,066	80	705	113	473	1,226	6,244
8月	29	15,609 (538.2)	894	4,188	66	807	108	568	1,068	5,563
9月	27	12,103 (448.3)	816	4,192	60	521	113	559	989	5,272
10月	28	14,613 (521.9)	845	4,531	42	436	96	567	983	5,534
11月	27	15,042 (557.1)	923	4,636	65	498	108	639	1,096	5,773
12月	16	9,804 (612.8)	553	2,880	30	231	67	389	650	3,500
2年 1月	25	13,797 (551.9)	766	4,116	56	813	124	769	946	5,698
2月	26	12,153 (467.4)	675	3,250	53	809	80	604	808	4,663
3月	6	1,910 (318.3)	176	1,259	16	208	31	317	223	1,784
合計 (1日あたり)	294	159,536 (542.6)	9,127 (31.0)	46,115 (156.9)	615 (2.1)	5,877 (20.0)	1,129 (3.8)	6,298 (21.4)	10,871 (37.0)	58,290 (198.3)

(2) 資料に関する相談状況

所蔵資料の有効な利用を図るため、資料の利用案内や調査・研究の支援等の相談業務を実施しています。京都資料総合閲覧室カウンターでの相談のほか、電話・文書等による相談にも応じています。

ア 月別相談件数

	口頭	電話	文書	合計
31年4月	933	127	7	1,067
元年5月	1,067	126	21	1,214
6月	1,026	197	16	1,239
7月	1,162	166	28	1,356
8月	965	177	24	1,166
9月	960	147	25	1,132
10月	883	130	27	1,040
11月	844	216	19	1,079
12月	591	85	10	686
1月	736	138	22	896
2月	836	125	15	976
3月	202	213	18	433
合計	10,205	1,847	232	12,284

イ 相談内容別の状況

	口頭	電話	文書	計
館利用案内	3,823	559	95	4,477
複写依頼	2,538	217	12	2,767
特定図書在所蔵調査	2,014	564	31	2,609
図書に関する書誌的調査	65	20	4	89
人名・地名等の読み方調査	109	12	17	138
人物・団体調査	210	43	11	264
内容調査	734	168	46	948
その他	712	264	16	992
計	10,205	1,847	232	12,284

ウ 相談事例

○京都市右京区の「高尾」という地名が、いつごろ「高雄」という表記に変わったのかわかりたい。小さい頃は「高尾」という表記をよく目にしていたが、最近ではほとんど「高雄」になった。行政が呼び名を規定、あるいは固定化したのか？

【回答】

『京都の地名検証：風土・歴史・文化をよむ 2』pp. 183-186 に、高雄地域の歴史も含めて地名に関する解説がある。p. 184 によると、「高尾」は「槇尾（まきのお）」、「梅尾（とがのお）」と合わせて「三尾（さんび）」と呼ばれる。p. 185 には『高尾』がいつごろ『高雄』になったかについて記載があり、その記述によれば、平安中期の『拾遺集』には「高尾の山」、鎌倉期の文暦2年（1235年）の『新勅撰集』には「高尾やま」、同じ鎌倉期の『玉葉集』（1313年）や江戸中期の雑俳（元禄15年（1702年））になると「高雄山」と書かれ、表記の移行があるとされる。明確にいつごろ変わったか、ということとはわからないが、少なくとも鎌倉期の『玉葉集』のころには、「高尾山」だけではなく「高雄山」という呼び名も使用されるようになったようである。

他にも地名辞典、地名語源辞典を確認したが、「高雄」と「高尾」の表記の歴史については、『京都の地名検証』とほぼ同内容の説明である。

『京都市地名・町名の沿革』p. 55 に昭和6年3月31日京都市告示第57号が掲載されており、「学区及びその使用すべき小学校に対する名称を次のように定め、昭和6年3月31日より、これを施行する。（中略）9. 葛野郡梅ヶ畑村の区域を高雄学区とし、その小学校を高雄尋常高等小学校と称す。」とあり、「高雄」の表記を用いている。pp. 408-487「表 14. 昭和6年5月編入市町村名変更」のp. 448 には「梅ヶ畑村（小字）高雄」から「梅ヶ畑高雄町」に変更されたという記述があり、こちらでも「高雄」と表記されている。p. 58 によると、この記述の出典は昭和6年5月11日の京都市告示第99号で、昭和6年5月15日より改称されている。

pp. 52-55 より、京都府葛野郡梅ヶ畑村が京都市に編入されるのは、昭和6年4月1日である（昭和6年3月23日 京都府告示第219号）。

京都府の明治初期の統計書である『府治要覧 明治12年』のp. 43で、京都府山城地域の勝区（名勝地）を紹介しており、「高雄」と表記している。

当館の資料・デジタル画像検索システム「京の記憶アーカイブ」の行政文書検索画面からキーワード「梅ヶ畑△高尾」で検索すると、以下の行政文書が見つかった。

昭和17年度に農政課が作成した「産業組合法定款変更認可の件（指令） 積立金、余裕金管理方法、名称（保）梅ヶ畑（信）・産業組合法定名称変更登記嘱託書 京都区裁（新）「（保）高尾（信）」では、「高尾」の表記が用いられている。

昭和16年度の監理課による境界査定の行政文書「右京区梅ヶ畑高尾町」（差出人/作成者は神護寺）では、「高尾」と表記されている。

以上より、古く平安中期には「高尾」と表記されていたが、鎌倉時代から「高雄」も併用されるようになったこと、明治 12 年の京都府の統計書では「高雄」と表記され、昭和 6 年の京都市公報では学区名・町名で「高雄」と表記することが京都市により規定されたことがわかった。ただし、それより後の年代でも「高尾」と表記する例は見られる。

○蹴鞠をしている人が「アリアリ」「ヤア」等と、かけ声をかけているのを見た。かけ声には意味があるのか？

【回答】

『日本の蹴鞠』pp. 68-69「讀声（こいこえ）」の節によると、かけ声は基本的に「あり」「やあ」「おう」の三種類で、最初に鞠を蹴り始める時、鞠がゆっくり飛んで来た時、急に来た時、複数のかけ声が重なる場合等、状況に応じて使いわけることが書かれている。

蹴鞠保存会『蹴鞠』p. 6によると、鞠を蹴る時には「アリ」「ヤア」「オウ」と、かけ声をかけながら蹴る。「アリ」「ヤア」「オウ」は、それぞれ鞠の精「夏安林」「春楊花」「秋園」を指しており、その名を呼びながら、鞠が続くことを願って蹴る。かけ声は鞠の受け渡しの合図でもあることが書かれている。

『蹴鞠の研究：公家鞠の成立』の p. 24 にも『日本の蹴鞠』と同様の記述があり、声をかけることは鞠の精の助けを求める意味を持ち、「鞠を乞（こ）ふ」とも言うことが書かれている。

前述の資料『日本の蹴鞠』の pp. 89-94「蹴鞠の神様」の節には、蹴鞠の達人であった藤原成通（なりみち、1097-1162）の前に、「夏安林（げあんりん）」「春楊花（しゅんやうか）」「秋園（しゅうおん）」という三人の鞠の精が現れたことが記されている。鞠の精は、3～4歳くらいの子供で、顔は人、手と足と体は猿であったという。

○和氣清麻呂の姉「広虫姫」の髪型や服がわかる絵や写真はないか。前・後・横からも見たい。時代考証されたものがよく、出家前の姿がよい。

【回答】

『時代装束：時代祭資料集成』pp. 166-169 に「和氣広虫」の項目があり、pp. 166-167 に官職を辞した後の晩年の平服姿を前・後・横から写したカラー写真とイラスト（白黒）が掲載されている。この写真は時代祭の考証委員であった江馬務、猪熊兼繁、吉川観方の指導のもと、着装のうえ撮影されたものである。

なお、『和氣清麻呂公と護王神社』pp. 19-24「姉広虫の功績」の章によると和氣広虫は夫の死後に出家したが、のちに還俗している。出家の際も官職に就いていた。

『和氣清麻呂公と護王神社』の巻頭に、勝田哲「広虫姫子育図」がカラーで掲載さ

れているが、尼僧姿で描かれている。pp. 103-114 に絵本「和氣清麻呂」が掲載されており、子供時代、尼僧姿、配流先の広島での姿（尼僧姿でないもの）が描かれている。

『和氣清麻呂公の絵像集成』では、明治期や第二次大戦中の伝記絵、戦後の歴史漫画の中で描かれる和氣広虫の姿を紹介しているが、いずれも白黒。

以下の資料には、和氣広虫について言及はないが、奈良時代や平安時代初期の衣装の写真等を掲載している。

『原色日本服飾史』pp. 28-29 に養老の衣服令による命婦礼服（女官の礼服）の前・後からのカラー写真。pp. 44-45 には平安初期の女官朝服の前・後ろからのカラー写真を掲載。

『写真でみる日本の女性風俗史：京都染織まつり記念図録』pp. 22-31 に奈良時代の宮女の衣装のカラー写真が掲載されている。

『日本髪大全：古代から現代まで髪型の歴史と結び方がわかる』pp. 66-69 には、古墳時代～奈良時代の髪型についての解説があり、カラー写真も掲載されている。

○京都の井戸は漆喰で塗られており、そこに石が着けられている。理由を京都の年配の方に尋ねたところ、明治期に水が汚染されたので条例でそう作るよう決められた、と聞いた。その条例を見たい。

【回答】

『水の環境史：「京の名水」はなぜ失われたか』pp. 53-56 「井戸の材質はどうなっていたか」の節によると、井戸に汚水が侵入し、伝染病が発生することを防ぐため、漆喰や石煉瓦で井戸の側壁を補強せよという府令を、明治 23（1890）年に京都府が出したことが書かれている。

明治 23 年の府令は『京都府府令達要約 明治 23 年第 11 編上巻』に掲載されており、pp. 96-103 に「井戸便所下水構造規則」（府令第 28 号 3 月 14 日）が載っていた。第 3 条第 4 項（p. 98）には、「井戸ノ側壁ハ石煉瓦或ハ漆喰等ヲ用ヒ継ギ目ニ「セメント」又ハ漆喰ヲ以テ填充シ他ヨリ汚水ノ浸透ヲ防グコト 但地質堅緻ニシテ汚水浸透ノ虞ナキモノハ此限ニアラス」とある。

○三十三間堂（正式名称：蓮華王院）の夜泣き泉について知りたい。三十三間堂関係の本は一通り見たが載っていない。他に何かないか。

【回答】

『京都・伝説散歩』pp. 94-95 に夜泣き泉の項目があり、次のように紹介されている。後白河法皇が、子である守仁親王の夜泣きを嘆き、蓮華王院にある地藏大菩薩像に願をかけ続けたところ、地藏尊から蓮華王院の東にある霊泉の水を親王に与えるよ

う告げられた。法皇が親王にその水を与えると、夜泣きが止まった。その後、人々からこの地藏尊は「夜泣き地藏」、霊泉は「夜泣きの泉」と呼ばれ、祈願されるようになった。現在は井戸の場所が変わったためか、夜泣きの泉の水は枯れているという。

『京の怪談と七不思議』p. 103 の「三十三間堂辺七不思議」のなかで、「夜泣の井」について記述あり。この井戸か、傍らの夜泣地藏尊に祈願文を書くと夜泣きが治ると言われ、祈願の紙がたくさん貼られているという。

『京の伝説なんやかんや』p. 64 に「夜泣泉と夜泣地藏」があり、次のように記されている。三十三間堂にある井戸が夜に震動して泣くため、夜泣泉という名がついた。この井戸の隣に地藏尊を据えたところ、井戸の鳴音がやんだため、この地藏尊を夜泣地藏と呼ぶようになった。夜泣地藏に祈願すると小児の夜泣きが治ると言われ、参詣人が増え、祈願文やよだれかけが奉納されるようになった。

『京都の七不思議 上（緑紅叢書；2の9（第21輯））』p. 64 に三十三間堂の七不思議のひとつに夜泣き泉が上げられているが、解説は書かれていない。

○享保 14（1729）年に象が日本に来た時、中御門天皇がその象を見物している。何かの本で、天皇と象と一緒に描かれている絵を見たが、その絵をもう一度見たい。どこで見たいかは忘れてしまった。

【回答】

『動物の旅：ゾウとラクダ』は、享保 14 年に日本に来た象等に関する資料を紹介しており、p. 18 には天皇が象を見物する図「象之絵巻物」（尾形探香筆）が掲載されている。ただし御簾は描かれているが、御簾のうしろの天皇の姿は描かれていない。p. 60 の「展示資料一覧」によると、「象之絵巻物」の所蔵館は、関西大学図書館である。

『享保十四年、象、江戸へゆく』には、享保 14 年に日本に来た象の絵が複数掲載されているが、天皇と象と一緒に描かれた絵は載っていなかった。しかし p. 56 に、中御門天皇が御所で象見物をした際の配置図はあったので、天皇と象の位置関係はわかる。

『関西大学名品万華鏡：館選イチョン!』の p. 29 にも尾形探香画「象之絵巻」が掲載されている。pp. 56-57 の解説によると、尾形探香が生まれたのは、中御門天皇が象を見学した享保 14 年よりも 80 年以上後であるため、この図は想像画であるとしている。

○大覚寺の大沢池にある天神島について知りたい。

【回答】

『指定庭園調査報告、京都府』「大沢池附名古屋瀧址」の p. 7 に天神島について記

述がある。このページによると天神島は500余坪あって、天満宮の小祠があり、数十本の中小の松が植えられ、橋が渡されている。折り込み図（ページ付なし、p. 9の前のページ）「大沢池附名古曾瀧址平面図」があり、大沢池の北部に浮かぶ天神島を確認できる。

『嵯峨誌 平成版』のpp. 26-27に、天神島についての記述がある。それによると、天神島には菅原道真を祀った天神社があるが、それは大覚寺創建の際に菅原道真が奉状を起草し、俗別当の職に就いたためである。この奉状（「大覚寺奏請文」）は、同書p. 406に掲載されている。

大覚寺ホームページのコンテンツ「大覚寺とは」内、「天神島のおはなし」のページに、天神島の解説がある。『嵯峨誌 平成版』と同様の記述に加え、大覚寺の初代門跡となった恒寂入道親王に関する説を紹介している。恒寂入道親王は、天皇継承候補でありながら政争にまきこまれ、天皇になることなく亡くなったが、このページによると、天神島には恒寂入道親王とその母・淳和太后の墓所があり、その怨霊を鎮めるために菅原道真を祀っているのではないかと、いう。参考文献としてあげられている『嵯峨大覚寺』のp. 72にも、上記と同様の説が掲載されている。

『史跡大覚寺御所跡発掘調査概報』は、p. 27に天神島東端部分の発掘調査結果を掲載している。

『史跡大覚寺御所跡発掘調査報告』p. 210で、天神島の北側を開削した時期が近世以降と考えられることから、もともと天神島は地続きであったと推測している。

『大覚寺大沢池景観修復プロジェクト：古代と現代をむすぶ文化遺産』のp. 32やp. 56などに大沢池の地図があり、池の北部に天神島があることが確認できる。pp. 58-59には、天神島の樹木活力度調査の結果が載っている。pp. 19-20、pp. 154-155に、大沢池の水草除去のために放たれたソウギョという魚が、天神島のふちに生育する草の根をかじるため、島の底部がえぐれ、一部くずれる危険性があつたことが書かれている。pp. 166-167によると、ソウギョ捕獲後、天神島の浸食が止まり、植えたハスが咲くようになったという。

***当館では、回答した事例の中からピックアップし、国立国会図書館が運営するレファレンス協同データベース (<https://crd.ndl.go.jp/reference/>) に登録しています。当館で受け付けた相談事例の詳細は、上記より御覧いただけます。レファレンス事例の詳細検索画面から、検索項目：提供館名「京都府立京都学・歴彩館」で検索してください。**

本年もこのデータベースに多くの事例を登録したことにより、昨年に引き続き国立国会図書館長より御礼状の交付を受けました。

* 当館の資料を活用して調べものをしていただく際のガイドとして「調べ方ガイド」を作成しました。

番号	内 容
1	蔵書検索システム（OPAC(オーパック)）を使って資料を探すには？
2	京都の神社・お寺について調べるには？
3	京都の新聞を見るには？
4	京都の企業・商店（明治時代～1945年）を調べる
5	京都の地名について調べる

エ 古文書相談

古文書相談は、古文書の解読、整理・保存等についての相談に、面会や郵送等に対応するものです。今年度はカウンターで随時対応したほか、手紙・メール等で108件の相談がありました。

オ 国会図書館デジタル化資料送信サービスの実施

平成27年11月12日から、国立国会図書館の提供するデジタル化資料送信サービスを開始しました。

利用申込件数	182
複写申込件数	135
複写枚数	3,169

(3) 管理委託現物資料

京都府京都文化博物館を運営する公益財団法人京都文化財団に管理委託している美術工芸資料等の現物資料については、調査研究のため特に必要な場合、特別観覧に供しています。

本年度は、合計10件、57点の特別観覧がありましたが、詳細は次のとおりです。

番号	申請者の区分	資料区分	資料名	点数
1	個人	風俗	故実研究会風景（ガラス乾板）ほか	3
2	個人	日本画	田能村直入関係資料ほか	2
3	個人	風俗	飛鳥井雅豊卿免許状ほか	30
4	個人	日本画	菊地芳文《秋景遊鹿之図》ほか	2
5	法人	染織	染分縮緬地源氏物語文様友禅染振袖 ほか	10
6	個人	染織	襷に梅菊模様振袖	2
7	個人	日本画	跡見玉枝「清風郭公」ほか	3
8	個人	日本画	山口華楊《葉桜（大下絵）》	1

9	個人	考古	梅ヶ畑遺跡出土 銅鐸	1
10	個人	歴史	坂本龍馬書簡集ほか	3
合計				10件 57点

7 館蔵資料等の撮影と複写

(1) 使用及び利用

館蔵資料等を調査研究、出版等に使用するため、撮影等を行う場合の使用申請と、出版物等への掲載等を行う場合の利用届があったのは次のとおりでした。

資料種別	使用		利用	
	件数	冊(点)数	件数	冊(点)
図書資料	13	165	47	212
図書・雑誌	6	39	26	70
古典籍	7	126	21	142
文書資料	10	221	92	344
古文書	8	218	32	66
行政文書	1	2	25	69
写真資料	0	0	33	207
近代文学資料	1	1	2	2
管理委託現物資料	45	124	45	124
合計	68	510	184	680

(2) 行政文書の自写の状況

1,756点 57,273枚

複写状況 (H31. 4. 1~R2. 3. 31)

複写種別		合計		
		件数	枚数	
電子式複写	白黒	8,415	139,329	
	カラー		7,354	
(撮影)※			(18,541)	
画像プリント			2,351	
マイクロダブリンター			2,897	
国会図書館デジタル送信 資料用端末による印刷	白黒		3,010	
	カラー		159	
合計			8,415件	155,100枚

※撮影は、複写枚数に含まない。

8 資料の貸与

本年度は、次のとおり、合計 40件、403点の貸与を行いました。

(1) 図書資料

	貸与先及び展覧会等の名称	資料名	点数
	なし		

(2) 古典籍

	貸与先及び展覧会等の名称	資料名	点数
1	京都文化博物館 平成31年度総合展示「太田喜二郎と藤井厚二」	加藤源之助作品集	1
2	目黒区立美術館 「太田喜二郎と藤井厚二 ～日本の光を追い求めた画家と建築家～」	加藤源之助作品集	1
3	南丹市立文化博物館 企画展「江戸時代の暮らし ～博物館がもっとおもしろくなる!!～」	倭詞接木花、 絹張細工押絵 早稲古ほか	19
4	福井県立若狭歴史博物館 特別展「海と山の美(うま)しもの ～食がつなぐ若狭と都～」	年中御祝儀方 供御、本朝食 鑑ほか	21
5	奈良県立美術館 特別展「生誕125年・没後40年 吉川観方 ～日本文化へのまなざし～」	観方創作版 画、新選京都 名所ほか	18
6	京都文化博物館 令和元年度総合展示「道具と材料の職人譜」	鑿工譜畧、古 今金工便覧ほ か	61
7	細見美術館 「琳派展21 没後200年 中村芳中」	光林絵本道知 辺、画本早引 ほか	5
8	京都府立山城郷土資料館 特別展「光秀と幽斎 ～花開く武将文化～」	伊勢物語闕疑 抄、藤河百首 注ほか	32

(3) 古文書

	貸与先及び展覧会等の名称	資料名	点数
1	南丹市立文化博物館 平成31年度春季企画展「芦生の森 ～森の魅力を探る～」	京都府地券掛旧 蔵文書	12

2	京都文化博物館 平成31年度総合展示「祇園祭 山鉾巡行の歴史と文化 一鷹山復興にむけて一」	三条衣棚文書	9
3	島根県立古代出雲歴史博物館 企画展「たたら 鉄の国 出雲の実像」	東寺百合文書	2
4	九州国立博物館 「室町将軍 一戦乱と美の足利十五代一」	東寺百合文書	2
5	長野県立歴史館 令和元年度秋季企画展「戦国 小笠原3代」	東寺百合文書	1
6	大山崎町歴史資料館 第27回企画展「国衆からみた光秀、藤孝 一丹波・乙訓と織田権力」	革嶋家文書	14
7	京都府立山城郷土資料館 特別展「光秀と幽斎 ～花開く武将文化～」	革嶋家文書	2
8	南丹市立文化博物館 園部落立藩400年記念「園部落の歴史と文化」	城郭図、西田村文書・甲	3
9	奈良国立博物館 特別陳列「おん祭と春日信仰の美術」	原家文書	2
10	茨城県立歴史館 令和元年度特別展「佐竹氏 一800年の歴史と文化一」	東寺百合文書、革嶋家文書	6
11	向日市文化資料館 令和元年度企画展「戦国時代の物集女と乙訓・西岡」	東寺百合文書、革嶋家文書	17

(4) 行政文書

	貸与先及び展覧会等の名称	資料名	点数
1	南丹市立文化博物館 平成31年度春季企画展「芦生の森 ～森の魅力を探る～」	河川、橋梁、港湾ほか	2
2	南丹市立文化博物館 園部落立藩400年記念・令和元年度秋季特別展「園部落の歴史と文化」	園部旧城見取図ほか	8
3	茶道資料館 令和2年新春展「近代の博覧会と茶の湯」	府藩県往復ほか	2

(5) 写真資料

	貸与先及び展覧会の名称	資料名	点数
	なし		

(6) 近代文学資料

	貸与先及び展覧会の名称	資料名	点数
	なし		

(7) 管理委託現物資料

京都府京都文化博物館を運営する公益財団法人京都文化財団に管理委託している美術工芸資料等の現物資料については、合計21件(163点)の貸与を行いました。貸与先等は次のとおりです。

	貸与先	展覧会等の名称	部門	資料名	点
1	浜松市美術館	「上村松園展」に出品のため	日本画、 風俗	三島上龍「灯笼美人図」ほか	34
2	内閣府迎賓館京都事務所	コロンビア共和国下院議長接遇のため、クロアチア共和国議会議長接遇のため	日本画	野々内良樹「緑映」	1
3	笠岡市竹喬美術館	「小野竹喬のすべて」展に出品のため	日本画	小野竹喬《曇りの日の海》ほか	2
4	京都府文化スポーツ部文化芸術課	府民ギャラリー事業二役室展示のため	日本画	綾田勝義「袖志の棚田 五月の頃」ほか	7
5	桑名市博物館	「伊藤小波」展に出品のため	日本画、 工芸	森川曾文《宝入船之図》ほか	7
6	京都国立近代美術館、東京藝術大学大学美術館、朝日新聞社	「円山応挙から近代京都画壇へ」展に出品のため	日本画	丸山応震《笑面滝図》ほか	2
7	福岡市博物館	「侍 もののふの美の系譜」展に出品のため	日本画	大内義興像	1
8	内閣府迎賓館京都事務所	コソボ共和国大統領接遇のため	日本画	木下章「光悦寺の萩」	1
9	大分県立美術館	「The Ukiyo-e 歌川派」展に出品のため	日本画	歌川豊春「見立女三宮図」	1
10	奈良県立美術館	「吉川観方 日本文化へのまなざし」展に出品のため	日本画	吉川観方「懸想文売、遊山、お多福」ほか	47
11	京都府文化スポーツ部文化芸術課	府民ギャラリー事業二役室展示のため	日本画	小西通博「経ヶ岬」ほか	7

12	大阪市立美術館	「仏像 中国・日本」展 に出品のため	彫刻	銅造 如意輪観音坐像	1
13	郡山市立美術館	「クリストファー・ドレ ッサーと正倉院宝物」展 に出品のため	陶磁器	上絵金彩唐人物図三 足香炉	1
14	京都府文化スポーツ部 文化芸術課	府民ギャラリー事業 二役室展示のため	日本画	浜田昇児《大野溪谷》	7
15	京都府立文化芸術会館	「生命の輝き-京の日本 画家の描く動物画の世 界」展に出品のため	日本画	石川義《棲みたい》 ほか	20
16	笠岡市竹喬美術館	「近代花鳥画の名手」展 に出品のため	日本画	菊地芳文《秋景遊鹿 之図》ほか	4
17	京都市学校歴史博物館	「京都府画学校への道」 に出品のため	日本画	谷口藹山「山水図」 ほか	3
18	練馬区立美術館	「津田青楓と歩む明 治・大正・昭和」展に出 品のため	日本画	谷口香嶠《紫裾濃大 鎧》ほか	2
19	京都府文化スポーツ部 文化芸術課	府民ギャラリー事業二 役室展示のため	日本画	南大路一「久見浜灣」 ほか	7
20	京都市美術館（京都市 京セラ美術館）	「京都の美術 250 年の 夢」展に出品のため	陶磁器	初代高橋道八「錆絵 芦文芋頭水指」ほか	2
21	東京都江戸東京博物 館、山口県立美術館、 あべのハルカス美術館	「鬼才 -江戸絵画の冒 険者たち-」展に出品の ため	日本画	祇園井特「花魁道中 図屏風」ほか	6
合計 21 件 163 点					

9 図書館間相互貸出

(1) 府内公共図書館等

平成4年7月に開始した府内の公共図書館等との図書相互貸借については、21館、54冊の貸出し、1館、4冊の借受けを行いました。明細は次のとおりです。

貸借先館名	貸出冊数	借受冊数	貸借先館名	貸出冊数	借受冊数
京都府立図書館	7	4	木津川市立中央図書館	3	-
京都市中央図書館	2	-	木津川市立加茂図書館	1	-
京都市右京中央図書館	3	-	木津川市立山城図書館	1	-
京都市醍醐中央図書館	1	-	南山城村図書室	6	-
京都市北図書館	3	-	亀岡市立図書館中央館	6	-
京都市下京図書館	6	-	南丹市立中央図書館	4	-
長岡京市立図書館	1	-	綾部市図書館	1	-
宇治市中央図書館	2	-	福知山市立図書館中央館	1	-
八幡市立八幡市民図書館	1	-	宮津市立図書館	1	-
京田辺市立中央図書館	2	-	京丹後市立あみの図書館	1	-
			福知山公立大学メディアセンター	1	-
			計	54	4

(2) 国立国会図書館等

昭和61年7月から国立国会図書館所蔵図書の借受け・閲覧サービスを行っていますが、令和元年度の借受利用はありませんでした。

10 共催事業等

○ 日本文化史研究3・4

京都府立大学文学部歴史学科の授業「日本文化史研究3・4」を当館にて実施しました。当館の所蔵資料を使ってグループ毎に設定したテーマで調査研究を行い、その成果発表の展覧会「府大生∞歴彩館 コラボで探る京都学」を当館の展示室で開催しました。

(授業期間：令和元年度前期・後期(30回)、受講者：13人、展覧会会期：令和元年11月16日(土)～12月8日(日))

○ 講座・研究会等

当館を会場に、大学等と連携して次の共催事業を開催しました。

事業名	年月日	主催・共催者	参加者数
『戦後京都を設計した男』建築家・富家宏泰生誕100年記念回顧展	令和元年 9月7日（土） ～30日（月）	建築家・富家宏泰生誕 100年記念回顧展実行委 員会	1,265人 京都学 ラウンジ
時の響2019 親子で楽しむワーク ショップ	令和元年 10月20日（日）	『時の響』実行委員会	153人 小ホール
日文研特別公開シンポジウム —天皇と皇位継承 過去と現在の視 座—	令和元年 11月9日（土）	大学共同利用機関法人 人間文化研究機構国際 日本文化研究センター	412人 大ホール

○ 資料で親しむ京都学

京都府立大学、京都府立医科大学及び京都工芸繊維大学が設置する京都三大学教養教育研究・推進機構と連携した科目「リベラルアーツ・ゼミナール—資料で親しむ京都学」を開講しました。当館が所蔵する資料の価値や、利用・調査方法を講義しました。（期間：令和元年度後期（15回）、受講者：12人）

○ 英語で京都

京都府立大学、京都府立医科大学及び京都工芸繊維大学が設置する京都三大学教養教育研究・推進機構による授業「英語で京都」において、当館が所蔵する古典籍を英語で紹介する課題に取り組み、展覧会「府大生∞歴彩館 コラボで探る京都学」において、成果発表「学生による英語展示解説」を行いました。（成果発表日：令和元年12月2日（月））

○ 新聞連載

「京都新聞」（毎月第三土曜日朝刊、教育面）に、歴彩館所蔵の古典籍を紹介するコラム「遊びをせんとや」を連載。（府立大学教員と共同執筆）

	日付	内容	執筆者
110	平成31年4月20日	万葉集	京都府立大学教授 山崎 福之
111	令和元年5月18日	山城四季物語	資料課 大瀧 徹也
112	令和元年6月15日	六臣註文選	京都府立大学教授 林 香奈
113	令和元年7月20日	祇園會細記	資料課 大塚 活美
114	令和元年8月17日	明衡消息	京都府立大学講師 藤本 灯

115	令和元年9月21日	新刊類選古今事実夢林廣記大全	京都府立大学教授 小松 謙
116	令和元年10月19日	地藏菩薩三国靈驗記	京都府立大学准教授 本井 牧子
117	令和元年11月16日	東山名勝図会	資料課 松田 万智子
118	令和元年12月21日	大句数	京都府立大学准教授 竹島 一希
119	令和2年1月18日	舟弁慶	京都府立大学教授 山崎 福之
120	令和2年2月15日	歳時滅法戒 年中行事	資料課 祖父江 長良
121	令和2年3月21日	山州名跡志	資料課 合田 淳

1 1 資料の収集・整理・保存

当館では、京都に関する資料等を総合的に収集・整理・保存していますが、資料の種類と内容は次のとおりです。

- ・ 図書資料

図書、逐次刊行物、パンフレット等の印刷物(写本、原稿、書簡、写真、マイクロフィルム等を含む。)及びこれに準ずる資料

- ・ 古文書

- ・ 行政文書

- ・ 写真資料

- ・ 近代文学資料

- ・ 管理委託現物資料

(1) 図書資料

本年度に収集した資料冊数は、次のとおりです。

区分	購入(冊)	寄贈(冊)	取得等(冊)	計(冊)	
京都資料	374	1,067	326	1,767	
京都に関連するその他の資料(歴史、美術、宗教等)	225	969	173	1,367	
官庁資料	京都関係	78	375	386	839
	国・他府県	121	125	36	282
合計	798	2,536	921	4,255	

ア 歴史・地誌

書名	著編者等
光秀と幽斎：花開く武将文化（展示図録：42）	京都府立山城郷土資料館編
伏見市誌で辿る伏見市の700日：伏見市誕生90周年記念	伏見歴史同好会編
童仙房開拓一五〇年のあゆみ	童仙房区制作
古代地名の研究事始め：山城・丹後の伝承・文学地名を中心に	糸井通浩著
ナマの亀岡	グレゴリ青山とキリカメ7著
園部落の歴史と文化：園部落立藩400年記念・令和元年度秋季特別展	南丹市立文化博物館編
京の歴史をつなぐ：ICOM京都大会開催記念展覧会	京都文化博物館編
鳥居篤治郎の生涯：京都ライトハウスの創業者	岸博実監修/岡山隆俊イラスト/京都精華大学京都国際マンガミュージアム事業推進室編
地図でみる京都：知られざる町の姿	岩田貢、山脇正資著
翔鷲子ども風土記	
檜尾古寺跡：京都東山如意ヶ嶽山中の平安時代前期山林寺院跡	京都女子大学考古学研究会編
京都巻（シリーズ三都）	杉森哲也編
日置村誌 覆刻版 上下	
菅原道真の史跡をめぐる（京都を愉しむ）	五島邦治著
陽明文庫近衛家伝来の至宝：設立80周年記念特別研究集会記念図録	田島公編
令和の御代を迎えて：御即位記念特別展（三の丸尚蔵館特別展図録）	宮内庁三の丸尚蔵館編
図説京阪神の地理：地図から学ぶ	山口覚 [ほか] 著
日本中世村落文書の研究：村落定書と署判	蘭部寿樹著
郷土・地域をしらべるレファレンスブック	日外アソシエーツ株式会社編集

イ 宗教

書名	著編者等
神話文学の展開：貴船神話研究序説	三浦俊介著
かめおかの狛犬：第66回企画展	亀岡市文化資料館編

<p>氏人置文 (賀茂別雷神社史料:1)</p> <p>律令国家の祭祀と災異</p> <p>事典古代の祭祀と年中行事</p> <p>現代日本の仏教と女性 : 文化の越境とジェンダー (龍谷大学アジア仏教文化研究叢書:8)</p> <p>マンガアンドロイド観音が般若心経を語りはじめた</p> <p>明恵と龍になった女</p> <p>近世京都寺社の文化史</p> <p>清水寺成就院日記 初版 第4巻</p> <p>因幡堂平等寺 : 京に飛んできたお薬師さん</p> <p>知恩院史料集 日鑑篇32</p> <p>講座同朋運動 : 西本願寺教団と部落差別問題 第1巻~第5巻</p> <p>Kinkaku-ji : Kyoto (The arts and ethics of Zen temples : 古寺バイリンガルガイド : 京都)</p> <p>相国寺史 第1巻: 史料編中世1</p> <p>図説日蓮聖人と法華の至宝 第1巻~第7巻</p> <p>戦国仏教と京都 : 法華宗・日蓮宗を中心に</p>	<p>賀茂別雷神社史料編纂委員会編</p> <p>小林宣彦著</p> <p>岡田莊司編</p> <p>那須英勝, 本多彩, 碧海寿広編</p> <p>高台寺監修, 結城わらゑ[マンガ制作]</p> <p>谷口義介著</p> <p>村上紀夫著</p> <p>清水寺史編纂委員会編</p> <p>龍谷大学龍谷ミュージアム</p> <p>総本山知恩院史料編纂所監修・編集</p> <p>同和教育振興会編</p> <p>Shogakukan</p> <p>相国寺史編纂委員会編</p> <p>中尾堯, 望月真澄編</p> <p>河内将芳著</p>
---	---

ウ 芸術

書名	著編者等
<p>国宝東寺 : 空海と仏像曼荼羅 : 特別展</p> <p>アートと障害のアーカイブ・京都 : 記録集</p> <p>美を守り、美を伝える : 京都国立博物館寄託の名宝</p> <p>時空を超えたメッセージ : 龍谷の至宝</p> <p>福田美術館開館記念・福美コレクション展</p> <p>佐竹本三十六歌仙絵と王朝の美 : 流転一〇〇年</p> <p>伊藤若冲展 : 東日本大震災復興祈念</p> <p>吉川親方—日本文化へのまなざし : 生誕一二五年・没後四〇年 : 開館三〇〇回記念特別展</p> <p>伊庭靖子展 : まなざしのあわい</p>	<p>東京国立博物館 [ほか] 編</p> <p>みずのき美術館編 きょうと障害者文化芸術推進機構</p> <p>京都国立博物館編集・制作</p> <p>龍谷大学創立 380 周年記念書籍編集委員会編</p> <p>福田美術館編</p> <p>京都国立博物館, 日本経済新聞社編</p> <p>福島県立美術館編</p> <p>奈良県立美術館編</p> <p>東京都美術館編</p>

没後 17 年藤田龍児遺作展：ナイーブな感性で描いた珠玉の作品を一堂に

村山槐多全作品集：真実の眼—ガランスの夢

拓本入門：採拓の基礎から裏打まで

京都書道連盟展：京都書道連盟展結成六十五周年記念作品集

カメラとにっぽん：写真家と機材の 180 年史

石田直・征希・知史・ちさと：パート・ド・ヴェール作品展：和のガラス、時を越えて

永田友治の研究：謎多き琳派蒔絵師、鍍金術を駆使した先見性と独自性

京都の染織：1960 年代から今日まで

繻(ぬ)えども繻(ぬ)えども

鴨川をどり：第 182 回：新元号記念

福知山マラソン official program：明智光秀ゆかりの地「福知山」を駆ける！、第 29 回

京都らくほく少年サッカークラブ五十周年記念誌

京都大学野球部 120 年史

香木のきほん図鑑：種類と特徴がひと目でわかる

宇治の文学碑を歩く

御苑に近き学び舎に：京都・番組小学校の誕生

[藤田龍児画]：星野桂三、星野万美

子編集制作：星野桂三写真撮影

村松和明著

藪田夏秋著

京都書道連盟

日本カメラ博物館編著

高島屋美術部

岩井胤夫著

京都国立近代美術館

長艸敏明著

先斗町歌舞会 [編]

[福知山マラソン実行委員会]

京都らくほく少年サッカークラブ 50 周年記念事業“らくほく”誌編集委員会

京都大学野球部 120 年史編集委員会編

山田英夫著

小西亘著

荒木源著

エ 社会・産業

書名	著編者等
空は世界へ：青少年宿泊事業等100回記念誌	日本赤十字社京都府支部
洛南築山ものがたり	植松美早絵と文
江戸幕府の「鼓」と人足寄場：社会復帰をめざす刑事政策	高塩博著
京都大とノーベル賞：本庶佑と伝説の研究室	広瀬一隆著
昔、石原に飛行場があった：海軍福知山航空基地と川西航空機疎開工場の全貌を探る	梶原秀明 [著]

<p>オーロラの日本史：古典籍・古文書にみる記録</p> <p>京都小塩山のギフチョウ</p> <p>日本の社会福祉：礎を築いた人びと</p> <p>ダイナミック地層学：大阪平野・神戸六甲山麓・京都盆地の沖積層の解析</p> <p>天と地の科学：東と西の出会い</p> <p>京都府立京都学・歴彩館（スチールデザイン）</p> <p>地域のなかの建築と人々</p> <p>98歳、石窯じーじのいのちのパン</p> <p>Classic Ki no bi cocktails</p> <p>ようかん</p> <p>秘伝・鈍穴流「花文」の庭</p> <p>飯野海運120年史</p> <p>北前船38：「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間北前船寄港地・船主集落」の物語</p> <p>しかげにときめく「京都名庭園」：京都の庭園デザイナーが案内</p>	<p>岩橋清美，片岡龍峰著</p> <p>八木孝司著</p> <p>蟻塚昌克著</p> <p>増田富士雄編著</p> <p>武田時昌，麥文彪編/edited by Tokimasa Takeda and Bill M. Mak</p> <p>日本鉄鋼連盟建築委員会</p> <p>妻木宣嗣著</p> <p>竹下晃朗著</p> <p>デイヴ・ブルーム [著]/遠藤建 [訳]</p> <p>虎屋文庫著</p> <p>近藤三雄編著/山村文志郎，山村眞司著</p> <p>飯野海運社史編集タスクフォース制作</p> <p>加藤貞仁，北前船日本遺産推進協議会著</p> <p>烏賀陽百合著</p>
---	---

オ 参考図書

書名	著編者等
第25回国際博物館会議京都大会ミュージアムガイド	ICOM京都大会2019京都推進委員会
南丹市立文化博物館開館20周年記念誌：20年を振り返る	南丹市立文化博物館編集
地域資料サービスの実践（JLA図書館実践シリーズ：41）	蛭田廣一著
大学アーカイブズの成立と展開：公文書管理と国立大学	加藤諭著
江戸期の広域出版流通（新典社研究叢書：309）	大和博幸著
博物館が壊される！：博物館再生への道	青木豊，辻秀人，菅根幸裕編著

カ 官庁資料

区分	書名	著編者等
京都関係	<p>京都スタジアム</p> <p>天橋立：世界に誇る日本の美意識を育んだ文化景観</p> <p>Enjoy 自転車 life in Kyoto 2019</p> <p>水に関する意識調査：調査結果報告書(本冊) 平成 30 年度</p> <p>消費者行政この一年 30 年度事業のまとめ</p> <p>京都府の気象 平成 30 年年報</p> <p>京(みやこ)の景観ガイドライン 眺望景観編</p> <p>新・長岡京市観光戦略プラン</p> <p>消防概況 令和元年度版</p> <p>亀岡市統計書 平成 30 年版</p> <p>舞鶴の環境：環境白書資料集 平成 30 年度版</p> <p>京丹後市地域防災計画</p>	<p>京都府文化スポーツ部 スポーツ施設整備課 京都府 [編]</p> <p>京都市建設局自転車政策推進室 [編]</p> <p>京都市上下水道局 [編]</p> <p>八幡市生活情報センター [編]</p> <p>京都地方気象台 [編]</p> <p>宇治市消防本部 [編]</p> <p>亀岡市総務部総務課編</p> <p>舞鶴市市民環境部環境対策室生活環境課 [編]</p> <p>京丹後市防災会議編</p>
国	<p>国会便覧 令和元年 8 月新版: 147 版</p> <p>平成の刑事政策 (犯罪白書: 令和元年版)</p> <p>なぜプラスチックが海の問題なのか (海洋白書: 2019)</p> <p>「令和」新時代の日本経済 (経済財政白書: 令和元年版)</p> <p>食料・農業・農村白書参考統計表 令和元年版</p> <p>数字でみる観光 2019 年度版</p> <p>表記・読書・言葉遣い (世論調査報告書 国語に関する世論調査: 平成 30 年度)</p>	<p>法務省法務総合研究所編</p> <p>内閣府編集</p> <p>農林水産省編</p> <p>日本観光振興協会編</p> <p>文化庁国語課 [編]</p>

キ 古典籍

資料名	著編者等
光悦謡本（盛久他7冊） 北野靈驗二葉之梅 天神記幼菅原 天満宮九百五十年御神忌奉納御寄進録 千代の地かため 隠玖免岐集り	一峰齋馬圓画 富川吟雪 [画] 華鳳編輯

新聞の研究家、収集家であった鈴木秀三郎氏（1893年～1962年）の旧蔵資料（光悦謡本（嵯峨本）や江戸時代の瓦版などの古典籍（35点176冊））を御令孫の鈴木武夫氏から御寄贈いただきました。

ク 雑誌・新聞等

京都関係、日本の歴史、美術工芸、伝統的芸能、官庁関係等の雑誌類及び新聞類を次のとおり収集し、所蔵しています。

区 分	総 数	継続購入数	継続寄贈・取得数
京 都 関 係	3,492	4	980
一般(歴史・美術・官庁等)	3,022	68	718
京都官庁関係	892	—	264
計	7,406	72	1,962

(2) 古文書

ア 収集した資料

文書群名 (資料名)	形態	目録 点数	資料概要 (地域)	資料概要 (年代)	資料概要 (内容/特記)
上京大宮森家文書	古文書	349	京都市	文化7(1810)年 ～昭和21(1946) 年	上京大宮町で商家伊勢屋を営んだ森家に伝来した資料。家文書だけでなく京都大火の瓦版や御触書の写しも含まれる。
佐々木利三氏旧蔵文書	古文書	124	京都市	天和2(1682)年 ～平成14(2002) 年	京都市上京区の武家佐々木家に伝来した近世文書と故佐々木利三氏が収集した資料からなる文書。

室町幕府管領斯波義将奉書	古文書	1	京都市	永徳2年(1382)	当館所蔵の国宝東寺百合文書とともに17世紀の整理事業の際には東寺に保管されながら、19世紀に流出した文書。内容は、初期の室町幕府を支えた斯波義将から東寺に発給された奉書。(購入)
--------------	-----	---	-----	------------	---

(3) 行政文書

ア 収集

「京都府文書の保管、保存等に関する規程」第15条により永年保存文書の移管を、また、同規程第14条により有期限保存文書の引渡しを受けています。

本年度は有期限保存文書を、以下のとおり565点の行政文書を収集しました。

永年保存文書の移管		有期限保存文書の引渡し	
完結年度	点数	完結年度	点数
平成4年度	1,389	明治33年度～平成19年度	565
過年度分(昭和26年度～平成3年度)	293		
合計	1,682	合計	565

(4) 写真資料

ア 収集

本年度は辻良一氏所蔵写真資料2点ほか、合計212点を収集しました。

(5) 文書の保存と複製資料の作成

ア 資料の保護

傷みの激しい文書や酸性劣化の恐れのある文書を中性紙の封筒及び専用保存箱に収納したり、データ化することにより代替物での閲覧提供を可能とすることで、文書の更なる損傷を予防するとともに、データのバックアップを行い、資料の安全な保存に努めました。

イ 複製資料の状況

資料区分	平成31年度/令和元年度収集			累 計(令和2年3月31日現在)		
	文書群数	マイクロフィルム (リール数)	写真帳 (冊数)	文書群数	マイクロフィルム (リール数)	写真帳 (冊数)
古文書	—	—	—	556	1,388	2,205
行政文書	—	—	—	9	0	917
合 計	—	—	—	565	1,388	3,122

ウ デジタル化資料

本年度末時点での、デジタル化資料のインターネット公開状況は、次のとおりです。

データベース名	画像データ	公開時期
東寺百合文書WEB	約1.9万コマ	平成26年 3月～
京の記憶アーカイブ		
図書資料	約42.8万コマ	平成27年11月～
古文書	約2.1万コマ	
写真資料	約7.9万コマ	
美術工芸品他	約0.8万コマ	
行政文書	約4.9万コマ	

(令和2年3月31日現在)

(6) 燻蒸

本年度は、平成30年度から令和元年度に寄贈を受けた古典籍について、令和元年8月に燻蒸を行いました。

(7) 管理委託現物資料

京都府京都文化博物館を運営する公益財団法人京都文化財団に業務委託して収集した美術工芸資料等は13件106点で、明細は次のとおりです。

部門	資料名	点数	区分	寄贈者名
美術 工芸 資料	① 染織 木村和宏「打掛(石橋模様)」ほか	15	寄贈	木村 和宏
	② 染織 戸張	1	寄贈	宗教法人妙光寺
	③ 陶芸 宮下善爾「向かう風」ほか	13	寄贈	宮下 英子
	④ 日本画 岩倉 壽「九月」ほか	4	寄贈	岩倉 幸児
	⑤ 陶芸 木村盛伸「茄子軸組皿」	1	寄贈	西脇 てい子
	⑥ 日本画 山崎隆夫「竹林」	1	寄贈	山崎隆夫

① 郷土玩具	七夕さん(紙衣)	1	寄贈	小川原敏
⑧ 日本画	羽田月洲・森川曾文・田中一華・前川文嶺「京都名所図屏風」	1	寄贈	中島扶美恵
⑨ 染織	中井貞次「火山去来」ほか	3	寄贈	中井 貞次
⑩ 染織	井筆慶人「遷る景」ほか	6	寄贈	井筆 慶人
⑪ 金工	瓢形銅花入 銘「寿の友」ほか	12	寄贈	中村 栄子
⑪ 木竹	蒔絵二重切花生ほか	3		
⑪ 日本画	砂物雛型之図ほか	19		
⑪ 書	覚書写ほか	19		
⑫ 洋画	太田喜二郎「農婦」ほか	6	寄贈	早川 喜子
⑬ 日本画	鉄斎印在	1	寄贈	山川 公代
合計				13件 106点

1 2 調査

本年度、調査した文書は次のとおりです。

(1) 行政文書

京都府文書の保管・保存等に関する規程に基づき、各課(室)から総務調整課に引き継がれた文書(電子公文書を含む)のうち、保存期限が経過した有期限保存文書から115点を選別しました。

また、本庁3号館北側のプレハブ取り壊しに伴い整理され廃棄されることになった各課保存文書のうち河川課の有期限保存文書108点と、乙訓土木事務所が保管し、今回廃棄されることになった道路台帳原図等342点も選別しました。

1 3 京都府行政文書修理事業

平成14年に都道府県行政文書として初めて国の重要文化財に指定された「京都府行政文書」(京都府立庁前年(慶応3年)から昭和21年度までの15,407点)について、適切な保存と積極的な利・活用を図るため、損傷等の修理を行いました。

今年度は明治・大正・昭和期の資料6点の修理を行ったほか、108点の資料に経常的な手当を行いました。

14 図書館実習・インターンシップ

(1) 図書館実習

同志社大学学生 令和元年8月20日～8月23日(4日間) 2人

龍谷大学学生 令和元年8月27日～8月30日(4日間) 2人

(2) インターンシップ

今年度の受入はありませんでした。

15 新聞掲載

年月日	新聞名	見出し
平成31年 4月1日(月)	京都新聞	タイルで装飾 写真立て作り 7日、左京で講座
平成31年 4月11日(木)	京都新聞	リョッコウサン 歴彩館で「親しむ会」23日
平成31年 4月24日(水)	京都新聞	うは「京都」のう ファイル15 緑紅さんによろしく 病床で見た旅する夢 没後50年 継がれる記録
平成31年 4月25日(木)	京都新聞	建物疎開前の五条通 地図で復元活動10年 太平洋戦争中空襲被害対策に家屋強制撤去 市民グループ「幸せな社会、次世代へ」
平成31年 4月26日(金)	京都新聞	知事特命受け組織改革 94歳上島有さんの東寺百合秘話 39 百合文書を毎日読みに来た館長
平成31年 4月26日(金)	毎日新聞	対の芸術 15人の粋 6月9日まで展覧会 京都学・歴彩館
令和元年 5月6日(月)	京都新聞	京ゆかりの画家 多様な「対」のありよう表現 左京で展示 日本画など17点
令和元年 5月13日(月)	京都新聞	8世紀の南山城「交通の要衝地」京田辺でセミナー
令和元年 5月20日(月)	京都新聞	大久保利通の茶室 保存へ 上京 移築視野、主要部材残す
令和元年 5月21日(火)	京都新聞	大久保利通の茶室 保存に道 上京の有待庵 歴史的価値確認 移築も

令和元年 6月6日(木)	毎日新聞	「複合シアター」から発信 府、懇話会で構想 左京・総合資料館跡地文化拠点に
令和元年 6月7日(金)	京都新聞	ソフィア京都新聞文化会議 サラ・パレットドシア氏(京都学研究院)「江戸時代の遊女は親孝行か」
令和元年 6月8日(土)	京都新聞	1930年時 山城地域長者番付を発見 伏見で発行”幻”の明治新聞社刊 宇治の茶農家で 地域社会伝える(『一市(伏見市)六郡(宇治 乙訓 紀伊 久世 綴喜 相楽)長者番附』)
令和元年 6月20日(木)	京都新聞	公文書管理・活用探る 左京で講演「政治レベルで改革を」
令和元年 6月29日(土)	日本経済新聞	学んでお得 意外と楽しい公文書館 「令和」複製や体験講座
令和元年 7月4日(木)	日本経済新聞(プラスワン)	学んでお得 意外と楽しい公文書館 「令和」複製や体験講座
令和元年 7月7日(日)	京都新聞	認知症支援 企業からも 左京 協議会設立でシンポ
令和元年 7月25日(木)	京都新聞	児童のモザイクアート色彩豊か 左京でワークショップ
令和元年 8月17日(土)	京都新聞	視覚障害者教育の変遷伝え 京都盲啞院の教材、左京で展示 木彫りの立体地図など
令和元年 8月24日(土)	京都新聞	古文書・絵図「お宝」見て 京都学・歴彩館 東寺百合文書など50点(国際博物館会議 ICOM 京都大会記念「京都学・歴彩館のお宝展」)
令和元年 8月25日(日)	京都新聞	左京・府立総合資料館跡地 舞台芸術拠点整備へ 府が方針、複数の劇場(シアターコンプレックス)に飲食店・ホテルも
令和元年 9月14日(土)	京都新聞	戦後の京で活躍した建築家富家宏泰氏回顧展 “街の顔”に思い出重ねて 景観築いた功績 生誕100年で再評価 時代ごとに最先端の表現
令和元年 9月19日(木)	産経新聞	戦後 京都を設計した富家宏泰氏 近代建築の魅力紹介 京都学・歴彩館 生誕100年で回顧展
令和元年 9月25日(水)	京都新聞	95歳上島有さんの東寺百合秘話44 偶然の幸運重なった文書 節約修理で「原形」残る
令和元年 9月25日(水)	読売新聞	総合資料館跡地に複合施設 舞台芸術活性化北山から 中小規模ホール 展示スペース

令和元年 10月3日(木)	京都新聞	笠置の飾らぬ日常とらえ 全町民撮影を計画 地域おこし協力隊員が写真展 左京(地域おこし協力隊員の柴田達也氏の写真展「1to1(ひととひと)繋ぐ」)
令和元年 10月17日(木)	京都新聞	笠置の魅力 どう発信? 左京で京教大教授 登山道整備など提案(「京都を学ぶセミナー(南山城編)」の第6回)
令和元年 10月17日(木)	京都新聞	皇室ゆかり 京と東京対比 府立京都学・歴彩館で企画展 街の移り変わりや役割の相違 文書や絵図で紹介(「双京京の夢、江戸の夢展」)
令和元年 11月17日(日)	京都新聞	自由な発想で創作 障害者のアート
令和元年 11月30日(土)	京都新聞	京の歴史 古典籍や絵図で 府立大生ら左京で企画展 御所の火災、平安神宮整備紹介(「コラボで探る京都学展」)
令和元年 12月3日(火)	京都新聞	ウは「京都」のウ ファイル19 松本清張の「先生」 継がれる記録日記に刻まれた占いの跡 祇園生まれの博覧強記(『怒佐布玖呂』)
令和元年 12月3日(火)	毎日新聞	「図書資料の防災継承を」 福知山公立大学長 救済経験基に訴え
令和元年 12月3日(火)	両丹日日新聞	「図書館の災害に備えを」 福知山で京都大会 公立大の井口学長が講演
令和元年 12月3日(火)	京都新聞	「図書館関係者ら災害対応を考察」 福知山で大会
令和2年 2月11日(火)	毎日新聞	吉井勇 幻の「神杉」発見 未発表決戦歌集 府立京都学・歴彩館で 戦争生きた人々の心情代弁
令和2年 2月29日(土)	京都新聞	陽明文庫から宮廷文化迫る 電子化で広がる研究 左京で講座 熊倉氏、近衛家の茶湯ひもとく(陽明文庫講座)
令和2年 3月13日(土)	朝日新聞	北山エリア 文化のまちに 府が構想 劇場施設整備へ 総合資料館跡地を活用

16 施設の状況

○令和2年3月31日現在（京都学・歴彩館）

敷地面積 116,932.79 m²
 建物面積 6,716.04 m² 延 23,940.68 m²
 建設費 約100億円
 構造 鉄骨造 地上4階 地下2階

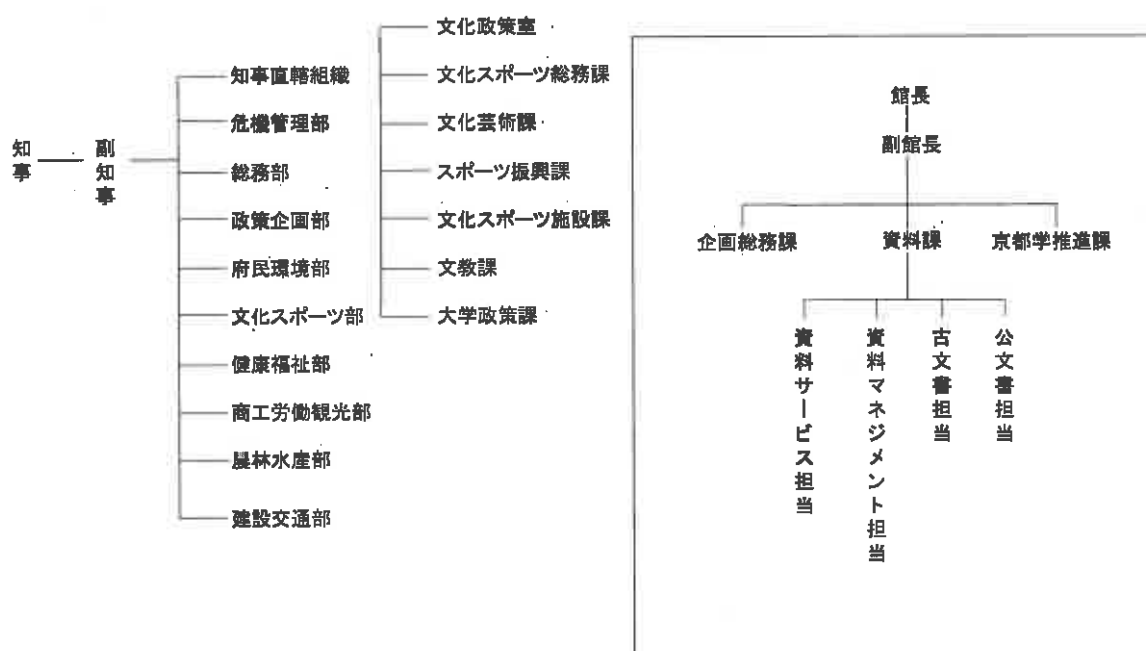
主要室の規模

1 階		2 階		地下1階		地下2階	
学習室	160 m ²	図書閲覧室	1,259 m ²	書庫・収蔵庫	3,447 m ²	書庫・収蔵庫	3,517 m ²
展示室	290 m ²	(開架書庫含)					
大ホール	511 m ²	府大閲覧室	2,012 m ²	撮影室	73 m ²		
小ホール	199 m ²	(書庫含)					
京都学							
ラウンジ	151 m ²						
京都学研究室	142 m ²						
府大書庫等	177 m ²						

17 組織・業務分担・予算

(1) 組織

○令和2年4月1日現在（京都学・歴彩館）



(2) 職員数

○令和2年4月1日現在（京都学・歴彩館）

	職 員（再任用を含む）	会計年度任用職員等
館 長	1	-
顧 問	-	1
副館長	2	-
企画総務課	6(※)	1
資料課	24	13
京都学推進課	4(※)	3
計	37	18

(※)副館長は企画総務課長事務取扱・京都学推進課長事務取扱であるが、※の数には再掲していない。

(3) 業務分担

○ 令和2年4月1日から

(7) 企画総務課

- 1 館運営等に関する事。
- 2 館発信事業の推進等に関する事。
- 3 人事、サービス、給与及び勤務条件等に関する事。
- 4 連絡調整に関する事。
- 5 予算、決算及び会計事務に関する事。
- 6 備品及び物品の調達及び保管に関する事。
- 7 財産の管理及び庁舎の管理に関する事。
- 8 (公財)京都文化財団への業務委託等に関する事。
- 9 その他庶務及び他課の所管に属さない事。
- 10 保安業務に関する事。

(4) 資料課

- 1 各種資料の調査・選別・収集並びに整理・保存に関する事。
- 2 各種資料の閲覧、利用及びレファレンスに関する事。
- 3 各種資料の普及並びに他機関等との連携に関する事。
- 4 担当業務の総括及び関係機関との連絡調整に関する事。

(ウ) 京都学推進課

- 1 京都の歴史や文化に関する研究の推進に関すること。
- 2 府内の大学等との連携による府域の文化資源の共同研究に関すること。
- 3 国内外の大学等との連携による研究交流及び研究支援に関すること。
- 4 海外の若手研究者の招聘及び研究支援に関すること。
- 5 京都資料のデジタル閲覧に関すること。
- 6 各種講座、シンポジウム、セミナー等の開催に関すること。
- 7 研究成果の発信及び交流事業に関すること。
- 8 府内自治体との共同による府域の文化の紹介に関すること。

(4) 予算状況（令和2年度当初予算）

（単位：千円）

区 分	予算額	説 明
一般活動費(京都学・歴彩館)	26,277	一般管理運営に要する経費
京都学・歴彩館資料保存活用事業費	70,571	
重要文化財京都府行政文書修理事業費	(5,508)	京都府行政文書の修理・補修費用
京都学・歴彩館展示室運営事業費	(4,063)	美術工芸品や貴重な文書資料等の優品を展示室において展示
文化資料業務委託事業費	(61,000)	美術・工芸、伝統産業の現物資料の保存・展示
京都学・歴彩館統合情報システム運営費	36,604	所蔵資料の検索を容易にする統合情報システムの運用
国際京都学活動推進事業費	13,005	京都の歴史、文化に関するフォーラム等を実施し、国内外の大学や研究機関との研究ネットワークを構築
計	146,457	

18 令和元年度の主な活動

31. 4. 4 京都学ラウンジミニ講座4月第1回開催、以降翌2月まで毎月（全41回）開催
31. 4. 22 歴彩館SNS（ツイッター、フェイスブック）開始
- 元. 5. 12 京都を学ぶセミナー「南山城編」第1回開催
- 元. 5. 25 地域の歴史を学び未来へ伝えるシンポジウム
- 元. 6. 1 府民協働連続講座開始

- 元. 6. 2 佛教大学歴史学部地域調査演習 1H授業閲覧受入
- 元. 6. 5 全史料協全国総会（東京都）
- 元. 6. 6 全国公文書館長会議（東京都）（～6.7）
- 元. 6. 8 京都女子大学博物館実習II見学受入
- 元. 6. 15 京都を学ぶセミナー「南山城編」第2回開催
- 元. 6. 19 久御山町久御山アカデミー勉強会受入
- 元. 6. 26 京都大学教育学部科目教育史専門ゼミナールIA・京都大学大学院教育学研究科科目教育史専門演習IAガイダンス・見学・閲覧受入
- 元. 6. 26 京都ノートルダム女子大学3年次専門演習科目見学受入
- 元. 6. 27 国立国会図書館長と都道府県立及び政令指定都市立図書館長との懇談会（東京都）
- 元. 6. 28 全国公共図書館協議会総会及び研究集会（東京都）
- 元. 6. 28 京都府立大学文学部和食文化学科ガイダンス・見学・閲覧受入
- 元. 7. 2 日本古典籍講習会（東京都）（～7.5）
- 元. 7. 4 京都市小学校図書館研究会OB会見学受入
- 元. 7. 5 京都府立大学古文書史料演習授業対応
- 元. 7. 16 チェコ共和国大学生見学受入
- 元. 7. 16 京都を学ぶセミナー「南山城編」第3回開催
- 元. 7. 19 京都府立大学日本古文書演習I授業対応
- 元. 7. 22 新潟県立歴史博物館「守れ！文化財～モノとヒトに光を灯す～」事業実行委員会展示見学受入
- 元. 7. 31 滋賀県立石山高等学校図書委員校外研修受入
- 元. 8. 1 『京都学・歴彩館紀要vol.2』発行
- 元. 8. 15 台風により15時で臨時休館
- 元. 8. 20 図書館実習生受入（同志社大学）（～8.23）
- 元. 8. 21 日本名作映画上映会 第1回開催
- 元. 8. 22 第69回全国高等学校PTA連合会大会京都大会文化財訪問受入
- 元. 8. 27 京都を学ぶセミナー「南山城編」第4回開催
図書館実習生受入（龍谷大学）（～8.30）
- 元. 8. 28 行政文書重文簿冊修理事業監督指導
- 元. 9. 1 第25回ICOM（国際博物館会議）京都大会2019（～9.7）
- 元. 9. 4 ICOM京都大会2019ソーシャルイベント@北山エリア開催
- 元. 9. 5 第67回全国博物館大会開催（ICOM京都大会2019連携）
- 元. 9. 10 京都を学ぶセミナー「南山城編」第5回開催
- 元. 9. 17 令和元年度海外若手研究員「京都学研究員」受入開始
- 元. 9. 28 京都府立鴨沂高等学校京都文化入門「和食文化」コース見学・展示解説受入
- 元. 9. 30 漢籍担当職員講習会（初級）（京都市）（～10.4）
- 元. 9. 30 「洛西の文化資源」共同研究会の報告書作成

- 元. 10. 5 『ラグビーワールドカップ2019日本大会パブリックビューイングin京都』開催(日本対サモア)
- 元. 10. 13 『ラグビーワールドカップ2019日本大会パブリックビューイングin京都』開催(日本対スコットランド)
- 元. 10. 15 京都を学ぶセミナー「南山城編」第6回開催
- 元. 10. 15 立命館大学国際平和ミュージアム見学受入
- 元. 10. 28 漢籍担当職員講習会(中級)(京都市)(~11.1)
- 元. 11. 8 情報科学技術協会見学受入
- 元. 11. 13 周山書庫からの行政文書の移動
- 元. 11. 14 全史料協全国大会(長野県)(~11.15)
- 元. 11. 14 国立国会図書館収集書誌部納本制度等出張協力受入
- 元. 11. 19 京都を学ぶセミナー「南山城編」第7回開催
- 元. 11. 29 京都府立大学古文書史料演習授業対応
- 元. 12. 3 日本名作映画上映会 第2回開催
- 元. 12. 6 京都府立大学日本古文書演習II授業対応
- 元. 12. 10 行政文書重文簿冊修理事業監督指導
- 元. 12. 13 京都造形芸術大学歴史遺産学科人文地理学II閲覧受入
- 元. 12. 17 京都を学ぶセミナー「南山城編」第8回開催
- 元. 12. 18 蔵書点検及びシステム更新のため休館(~12.27)
2. 1. 6 同志社大学グローバル地域文化学部アジア・太平洋コースグローバル地域文化発展セミナーII閲覧受入
2. 1. 10 京都府立大学古文書史料演習授業対応
2. 1. 24 同志社大学文学部文化史学科科目演習AI(2)-2ガイダンス・見学・閲覧受入
2. 2. 15 陽明文庫講座開催
2. 2. 17 日本文書情報マネジメント協会発行機関誌「IM」公文書管理特集取材受入
2. 2. 21 海外若手研究員による府民向けセミナー開催
2. 2. 23 『京都学・歴彩館紀要vol.3』発刊
2. 3. 7 新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館(~5.17)
2. 3. 12 行政文書重文簿冊修理事業監督指導
2. 3. 31 『京都を学ぶ【洛西編】』刊行

1.9 沿革

【(旧)総合資料館】

- 昭和 34. 34 年度予算に調査・準備費を計上
35. 6. 6 「建設のための懇話会」を設置
36. 12. 8 起工式
37. 11. 10 定礎式
38. 10. 28 設置条例制定・施行(京都府立総合資料館条例・昭和 38 年条例第 29 号)
38. 11. 15 開館式及び祝賀会を挙る。翌 16 日から閲覧業務等開始(庶務部に庶務係・経理係、資料部に展示係・資料係、図書部に収書係・目録係・閲覧第一係・閲覧第二係・閲覧第三係を置く。3 部 9 係)
39. 2. 21 文献資料の複写業務を開始
39. 4. 1 機構改革(係を課とし、3 部 9 課)
39. 11. 14 「京都府立総合資料館友の会」発足
40. 4 京都府開庁 100 年を記念して京都府百年史を編さんすることとなり、事業を開始
41. 6 民謡調査を開始
42. 8. 11 「東寺百合文書」を受入れ、整理・補修業務を開始
43. 4. 23 京都府百年史編さん事業の本格化に伴い百年史編さん室を設置(3 部 1 室 9 課)
43. 11 昔話調査を開始
45. 4 『京都新聞』(明治 18 年～昭和 44 年)のマイクロフィルム作成事業を開始
45. 8. 6 「古文書講習会」を開始
45. 8. 11 「東寺百合文書」及びその他の古文書の整理・保存事業を進めるため資料部に古文書課を設置するとともに、組織を再編(庶務部に庶務課、資料部に資料課・古文書課、図書部に整理課・閲覧課、百年史編さん室の 3 部 1 室 5 課)
45. 9. 22 「館蔵品陳列場」(現・2 階展示室)を開設
45. 12 資料の寄託制度を開始
46. 1. 1 『資料館だより』創刊
46. 6 新聞マイクロフィルム版等の閲覧・複写業務を開始
46. 7. 15 第 2 収蔵庫完成(鉄筋コンクリート 2 階建 延 274. 76 m²)
46. 7 『公開特許公報』『公開実用新案公報』の閲覧業務を開始
47. 3. 31 『資料館紀要』創刊

- 47. 6. 1 京都府百年史編さん事業完了のため、百年史編さん室を廃止。同時に、当館に移管されることになった京都府庁文書を中心に関係資料を収集・整理するため、資料部に行政文書課を設置（3部6課）
- 48. 3. 30 第3収蔵庫完成（鉄筋コンクリート2階建、恒温恒湿設備、延 1702. 18 m²）
- 48. 6. 16 部制を廃止し、次長を置く。また、組織も6課に再編するとともに、各課に資料主任を置く。（庶務課（庶務係、経理係）、文献第一課、文献第二課、文化資料課、古文書課、行政文書課の6課2係）
- 48. 11. 15 開館10周年・新収蔵庫竣工記念式典を開催
- 48. 12 東寺観智院金剛蔵聖教調査を開始
- 49. 4 有形民俗資料調査を開始
- 49. 8 教科書を収集
- 51. 1 「京の百景」を受入れ
- 51. 5. 26 組織を整理・統合（庶務課（庶務係、経理係）、文献課、文化資料課、歴史資料課の4課2係）
- 51. 1 視覚障害者・身体障害者のため、玄関スロープ設置等の施設整備に着手
- 52. 3 府内市町村行政文書の保存状況調査を開始
- 52. 4 古文書の公開を開始
- 52. 1 古文書所在情報調査を開始
- 53. 3 府内市町村行政文書の保存状況調査を開始
- 55. 1 「東寺百合文書」の公開を開始
- 55. 4 「東寺百合文書」のマイクロ化事業を開始
- 55. 6. 6 「東寺百合文書」が重要文化財に指定される
- 56. 4 近世文書マイクロ写真版の閲覧を開始
- 56. 6. 9 「東寺観智院伝来文書典籍類」が重要文化財に指定される
- 56. 9. 10 第1回「古文書教室」を開催
- 57. 4 古文書センター推進事業に着手
- 57. 7. 4 大閲覧室、軽読書室、学習室、文書閲覧室の日曜日開室を実施し、毎月20日を休室日とする。
- 58. 4 「東寺百合文書」の第2次修理を開始
- 58. 4. 19 「軽読書室」を閉鎖
- 58. 5. 18 「京都府行政情報資料センター」を開設
大閲覧室内に「軽読書コーナー」を設置
- 58. 10. 14 開館20周年記念式典を開催。翌15日に記念講演会を開催
- 59. 4. 1 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会に加入
- 59. 4. 14 「革嶋家文書」及び「袈裟禪文銅鐸」が京都府指定文化財に指定される

60. 5. 16 府内市町村図書館等を窓口とする館蔵図書のコピー業務を開始
61. 7. 1 国立国会図書館所蔵図書の閲覧利用サービスを開始
62. 5. 12 「古文書相談」を開始
63. 3. 29 美術工芸・歴史民俗等の現物資料の収集、保存及び展示業務を京都府京都文化博物館（昭和 63 年 10 月開館）を運営する財団法人京都文化財団に委託するため、総合資料館条例一部改正条例（昭和 63 年条例第 3 号）を制定公布
63. 4. 14 ブック・ディテクション・システム（図書持出防止装置）を設置
63. 4. 18 文化資料課を廃止（庶務課（庶務係、経理係）、文献課、歴史資料課の 3 課 2 係）
美術工芸、歴史民俗等の現物資料の収集、保存及び展示業務を財団法人京都文化財団に委託
63. 9. 30 京都府京都文化博物館の開館に伴い、「展示室」を廃止
「京都府行政情報資料センター」を廃止
63. 10. 1 京都府情報公開条例の施行に伴い、「府政情報コーナー」を設置
- 平成元. 4 貴重書のマイクロフィルム作成事業を開始
廃止した展示室の書庫・文書庫への改修など収蔵施設の整備を実施
- 元. 10. 20 第 1 回「文化講座」を開催
2. 10. 8 古文書のマイクロフィルム公開を開始
3. 5 明治期京都府庁文書（永年文書）の緊急補修事業を開始
4. 4. 1 日本図書館協会に再加入
4. 7. 1 京都府図書館等連絡協議会に加盟する図書館等との資料貸借業務を開始
5. 4. 1 定例休館日を毎月 20 日から毎月第 2 水曜日に変更
5. 5. 20 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会近畿部会に設立加入
5. 11. 7 開館 30 周年記念事業「北山まつり」を開催
6. 6. 4 「特別資料室」を開設し、吉田文庫を公開
9. 4 京都府立図書館の貴重書デジタル画像作成に資料提供
9. 6. 30 「東寺百合文書」が国宝に指定される
10. 3. 31 「京都府知的所有権センター」の開設により、「特許資料室」を閉鎖
10. 12 閲覧可能な古文書の所在情報調査を開始
11. 4 京都府 20 世紀歴史資料保存事業を開始
12. 4 京都府 20 世紀資料整理事業を開始
12. 9. 30 「特別資料室」を閉鎖
12. 10. 1 京都府立図書館への図書資料の一部移管作業、館内施設整備等のため、大閲覧室及び学習室を休室

- 12.12.28 文書閲覧室を含め全館休館
- 13.3.23 「京都府行政文書」が府指定有形文化財に指定される
- 13.5.11 京都府立図書館の新築開館に合わせ、当館も再開館（大閲覧室を図書閲覧室に名称変更、文書閲覧室を4階から3階へ移設、図書検索・貴重書画像閲覧の端末設置、木曜講座の開催等）
- 13.7.2 京都府図書館総合目録ネットワークシステムによる相互貸借を開始
- 13.10.9 国立国会図書館総合目録ネットワークに参加
- 14.5.23 「総合資料館府民講座」を開始
- 14.6.26 「京都府行政文書」が重要文化財に指定される
- 14.7.19 ホームページを開設
- 14.11.26 「古文書解説講座」を開始
- 14.12 「京の文化振興プラン（その1）－京都府が所蔵・保管する貴重な資料の活用方策－」策定
- 15.5.29 「草嶋家文書」が重要文化財に指定される
- 15.11.15 開館40周年を迎える
- 16.3.25 東寺百合文書翻刻史料集第1巻を刊行。記念シンポジウムを開催
- 16.4.1 「総合資料館所蔵資料データベース－京都北山アーカイブズ－」の公開開始
- 19.12 総合資料館あり方検討プラン策定
- 21.1 総合資料館基本構想（案）取りまとめ
- 21.3.24 古久保家文書が府指定有形文化財に指定
- 21.3.27 府立大学、府立植物園、府立総合資料館の3機関が包括協定を締結
- 21.8.25 「古文書入門教室」を開始
- 21.9.10 「歴史資料カレッジ」を開始
- 21.10 北山文化環境ゾーン整備推進委員会による「北山文化環境ゾーン整備推進についての検討報告」公表
- 21.10.17 植物園、府立大学と共同で包括協定締結記念事業「北山から未来へ」を開催
～11.26
- 22.5 「北山文化環境ゾーン整備委員会における検討状況」公表
- 23.7.1 画像データ閲覧システム「京の記憶ライブラリ」を公開
- 23.7.22 京都府新総合資料館（仮称）公募型設計競技第1次審査の結果公表
- 23.10.14 京都府新総合資料館（仮称）公募型設計競技の結果公表
- 23.11.16 新資料館設計協議結果展
～22

- 24. 5. 16 国際京都学センターの開設準備のための府立大学と総合資料館の共同研究（ACTR）を開始
- 24. 10. 2 国際京都学センターの開設に向けて「京都学へのいざない講座」を開始
- 24. 12 新総合資料館（仮称）建築工事の実施設計を策定
- 25. 5. 21 館所蔵の国宝「東寺百合文書」がユネスコ記憶遺産の登録候補として日本ユネスコ国内委員会から推薦決定
- 25. 7. 4 新総合資料館（仮称）建築工事契約・着工
- 25. 11. 15 開館 50 周年を迎える
- 25. 11. 16 開館 50 周年記念シンポジウムを開催
- 26. 3. 3 「東寺百合文書WEB」公開開始
- 26. 3 日本ユネスコ国内委員会から記憶遺産登録に向けての推薦書をユネスコへ提出
- 26. 6. 12 「東寺百合文書」が日本ユネスコ国内委員会より世界記憶遺産登録候補として選定
- 26. 11. 7 Library of the Year 2014 大賞受賞
- 27. 8. 1 文化資源発掘プロジェクトによる共同研究の開始
- 27. 10. 10 「東寺百合文書」がユネスコ世界記憶遺産に登録
- 27. 11. 10 「京の記憶アーカイブ」公開開始
- 27. 11. 12 「国立国会図書館デジタル化資料送信サービス」開始
- 28. 7. 8 京都府新総合資料館（仮称）棟 引渡
- 28. 9. 13 京都府立総合資料館 閉館

【京都学・歴彩館】

- 28. 12. 1 京都府立京都学・歴彩館 条例施行
- 28. 12. 23 京都府立京都学・歴彩館 一部オープン
- 29. 1. 27 「京都を学ぶセミナー」を開始
- 29. 2 公益財団法人 陽明文庫所蔵資料のデジタル画像の収集及び館内公開に関する覚書締結
- 29. 4. 28 京都府立京都学・歴彩館 グランドオープン
陽明文庫デジタル画像閲覧を開始
- 29. 7 海外若手研究員に係る世界の主要な日本文化研究機関との連携及び覚書締結開始(令 2. 3 月末現在 計 7(海外 4・国内 3)機関)
- 29. 7. 6 「京都学ラウンジミニ講座」を開始
- 29. 12～ 京都学・歴彩館への京都府立大学文学部移転
- 29. 12. 6 「古文書ヨル学会―入門編―」を開始
- 29. 12. 12 「資料に親しむ会」を開始

30. 1. 9 海外若手研究員 受入開始
30. 2. 16 「海外若手研究員による府民向けセミナー」を開始
30. 5. 25 「京都の出版社に聞く」を開始
30. 10. 1 京都学ラウンジ倶楽部の発足
30. 11. 10 「陽明文庫講座」を開始
30. 12. 4 独立行政法人国際交流基金京都支部と共催の日本名作映画上映会を開始
31. 3. 23 京都府文化賞受賞記念の公演等開始
31. 4. 1 人間文化研究機構総合地球研究所との学術交流・協力に関する基本協定書の締結
-
- 令和元. 6 府民協働連続講座開始
2. 4 北山プロムナード供用開始

(参考資料)

館蔵資料の国宝等指定一覧（令和2年3月31日現在）

No.	種別	資料名	点数等	概要
1.	国宝 (平9.6.30 指定)	東寺百合文書	※ 18,646点	京都市南区の東寺（教王護国寺）に伝えられた文書で、奈良時代から江戸時代初期に至る約1,000年間の文書群です。 内容は宗教活動、寺院経済、荘園経営など中世史研究等の基本資料で、昭和42年、文化財保護を目的に京都府が購入しました。
	ユネスコ 「世界の記憶」 (平27.10.10 登録)			
2	重要文化財 (昭56.6.9 指定)	東寺観智院伝来 文書典籍類	57点	東寺の子院である観智院の金剛蔵に伝わった中世資料で、東寺百合文書同様、貴重な学術資料です。なお、本典籍類は同文書と同時に購入しました。
3	重要文化財 (平14.6.26 指定)	京都府行政文書	15,407点	京都府が行政を行うために管理保存してきた京都府の公文書のうち、京都府立庁前年の慶応3(1867)年から昭和21年度までの文書で、近代の政治、歴史、文化を知り得る貴重な資料です。
4	重要文化財 (平15.5.29 指定)	革嶋家文書	2,459通	京都市西京区川島の革嶋家に伝来した文書で、昭和49年、故革嶋廉三郎氏から寄贈されたものです。鎌倉時代から大正年間の約800年に及ぶ文書群で、革嶋家の歴史を物語るものです。
5	重要文化財 (昭43.4.25 指定)	池 大雅 「柳下童子図 屏風」	1点	江戸時代の画家で、日本の文人画の大成者・池大雅が描いた屏風絵です。平成7年、財団法人池大雅美術館（佐々木もと子館長）から京都府に寄贈された73件、85点に及ぶ大雅の絵画、書跡、関係資料のうちの1点です。
6	府指定有形 文化財 (昭59.4.14 指定)	袈裟褌文銅鐸	4口	昭和38年に、京都市右京区梅ヶ畑の宅地造成工事現場から発見された銅鐸で、昭和42年に京都府の所蔵になりました。型式の古さ、「入れ子」の状態での発見、同范鐸の存在など、学術的価値の高いものです。
7	府指定有形 文化財 (平21.3.24 指定)	古久保家文書	266点	寛文8(1668)年以来、代々上京下西陣組の町代を勤めた古久保家に伝わった古文書です。町代は江戸幕府の京都町奉行所と京都市中の町との間の諸事務を勤めました。御触留、町代の公事番所勤番日記等があります。

※東寺百合文書：18,705点のうち、国宝が18,646点、重要文化財が57点（東寺観智院伝来文書典籍類）、未指定が2点。

京都府立京都学・歴彩館資料収集方針

令和2年4月1日

京都に関する資料等を収集し、保存し、及び公開することにより、京都における文化の発展及び学術の振興に資するため、以下の収集方針を定める。

収集した資料は、適切な保存環境のもとで永年保存し、後世に伝える。また、収集した資料を利用に供し、デジタル化をはじめとする媒体変換等の手段を講じる。

なお、行政文書の移管又は引渡しなどは、別の規程等による。

I 図書資料等収集方針

1 基本方針

京都に関する専門図書館機能を十分に発揮するために必要な資料を収集する。資料の収集は、購入及び寄贈等による。非市販資料も対象とする。

2 収集資料の範囲と種類

(1) 収集する資料の範囲は、次のとおりとする。

① 京都に関する資料

ア 現在の京都府の行政区域内に関する内容を含む資料を網羅的に収集する。

イ 「京都府文書の保管、保存等に関する規程」に基づき当館に送付される資料をはじめとする京都府が発行する資料を収集する。

ウ 京都府内の自治体が発行する資料を収集する。

エ 京都府内の団体や個人が発行する資料について、収集に努める。

② 京都に関する調査研究に必要な資料

ア 京都の位置づけを理解するために必要な資料を収集する。

イ 所蔵する図書資料・古典籍・古文書・公文書等について理解するために必要な資料及び館の運営に必要な資料を選択的に収集する。

ウ 古典籍は、資料の来歴も考慮して選択的に収集する。

エ 収集にあたっては、京都府立大学附属図書館及び京都府立図書館蔵書に留意する。

(2) 収集する資料の種類は、次のとおりとする。

ア 図書

イ 雑誌・新聞及びフリーペーパー

ウ 近世以前の古典籍、漢籍等の古書

エ その他必要な資料

II 古文書収集方針

1 基本方針

地域の記憶となる京都に関する歴史資料を収集する。原本の受入は寄附・購入を基本とする。寄託は原則受けない。

2 収集資料の範囲と種類

(1) 収集する資料の範囲は、次のとおりとする。

ア 幕府・藩・公家・寺社等の領主、大庄屋等の文書、仲ヶ間（同業組合）文書、組合・会社文書等、広範な地域・組織に関わる文書を収集する。

イ 町文書・村文書など市町村が収集した方が適当と思われる資料は市町村と調整する。

ウ 個人的な資料（私的書状・書類・日記等）は基本的に収集対象としないが、京都の歴史に関わると評価できる場合は収集する。

(2) 収集する資料の種類は、次のとおりとする。

原本の受入だけでなく、複製物（画像・写真等）での収集を行う。

III 写真資料等収集方針

1 基本方針

京都の歴史・文化・社会を明らかにする上で記録性が高く歴史的価値を有すると認められる写真・映像資料を収集する。芸術性を追求した作家の作品は収集しない。

2 収集資料の範囲と種類

(1) 収集する資料の範囲は、次のとおりとする。

ア 京都の社寺・名所・祭礼・風俗・街並み・建物・風景・人物・事件等を撮影したもので、京都の歴史・文化・社会を明らかにする上で記録性が高く歴史的価値を有すると認められる写真・映像資料

イ 日本の歴史的な風景・資料等で特に記録性が高く歴史的価値を有すると認められる写真・映像資料

(2) 収集する資料の種類は、次のとおりとする。

希少性が高いガラス乾板を中心として収集する。

業 務 概 要

— 令和元年度のまとめ —

発 行 日 令和 2 年 8 月

編集・発行 京都府立京都学・歴彩館

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町 1-29

電 話 075-723-4831

F A X 075-791-9466

H P <http://www.pref.kyoto.jp/rekisaikan/index.html>

E-mail rekisaikan-kikaku@pref.kyoto.lg.jp

